

消 防 年 報

令 和 5 年 版



新発田地域広域事務組合消防本部

令和 6 年 刊 行

は し が き

この年報は、令和5年中の新発田地域広域事務組合消防本部管内における消防業務の実態などを統計的に収録したもので、将来の消防業務の資料となることを目的として編集したものであります。

この資料を参考として、当新発田広域消防行政の実態をご理解いただき、今後ともより一層のご支援、ご協力をいただければ幸いです。

令和6年7月

新発田地域広域事務組合消防本部

目 次

管内の概要	1
1. 消防本部の位置	2
2. 新発田地域広域事務組合消防の沿革	3~16
3. 構成市町・管内情勢	
(1) 管内人口・面積等	17
(2) 消防施設等に対する割合	17
(3) 消防力の整備指針と現況	18
(4) 管内消防本部・署・分署・出張所の配置図	19
(5) 組合消防機構図	20
(6) 消防庁舎の現況	21
(7) 歴代の消防長	22
4. 財政・事業・職員	
(1) 消防予算	23
(2) 人口・世帯に対する割合	23
(3) 職員及び配置現在員調	24
(4) 職員年齢別調	25
(5) 職員勤続年数調	25
(6) 職員研修受講状況	26
(7) 職員資格取得状況	27
5. 消防車両	
(1) 消防自動車等配置状況	28
(2) 小型動力・可搬ポンプ保有台数	28
(3) 消防自動車等現有一覧表	29
6. 通信指令	
(1) 消防通信施設の状況	30
(2) 無線設備	31~32
(3) 緊急通報等受付状況	33~34
(4) 気象警報等の発令状況	35
(5) 気象状況	36

7. 火災と予防

(1)	令和5年の火災と前年比較	37
(2)	管内市町別火災の状況	38
(3)	月別出火件数と損害額	38
(4)	既往10年間の火災状況	
イ	概況	39
ロ	原因別火災件数	40
ハ	月別火災件数	41
ニ	覚知別火災件数	42
(5)	防火対象物数(延面積150㎡以上)	43
(6)	消防用設備等の設置を要する防火対象物数	44
(7)	消防用設備等の点検報告を要する防火対象物数	45
(8)	防火管理者選任等の状況	46
(9)	建築同意事務処理状況	47
(10)	用途別建築同意事務処理状況	48

8. 危険物施設と石油コンビナート等特別防災区域の概要

(1)	石油コンビナート等特別防災区域の概要	49
(2)	市町別危険物製造所等施設数	50
(3)	類別危険物製造所等施設数	50
(4)	危険物製造所等の許可・完成検査・廃止届出数	51
(5)	屋外タンク貯蔵所数	51

9. 救急・救助等

救急

(1)	令和5年出場状況と前年比較	52
(2)	月別・事故別出場状況	53
(3)	曜日別出場状況	54
(4)	時間別出場状況	55
(5)	過去5ヶ年の出場状況	56
(6)	年齢・事故種別搬送人員状況	57
(7)	収容所要時間別搬送人員状況	58
(8)	覚知別出場状況	58

救助

(1)	令和5年出場状況と前年比較	59
(2)	活動状況	60
(3)	救助訓練実施状況	61
(4)	訓練施設の状況	62
(5)	救助隊員数	62
(6)	救助車両	62
(7)	緊急消防援助隊登録隊数	63

10. 消防団関係

(1)	市町別消防予算	64
(2)	市町別消防団員諸手当	64
(3)	市町別消防団員数	64
(4)	市町別消防団員年数調	65
(5)	市町別消防車両等台数	65
(6)	市町別消防水利状況	65



新発田市 新発田城



胎内市長池憩いの森公園 チューリップフェスティバル



聖籠町 弁天湯

管内の概要



聖籠町章



町花 ハマナス



新発田市章



市花 アイヤメ

令和6年4月1日現在

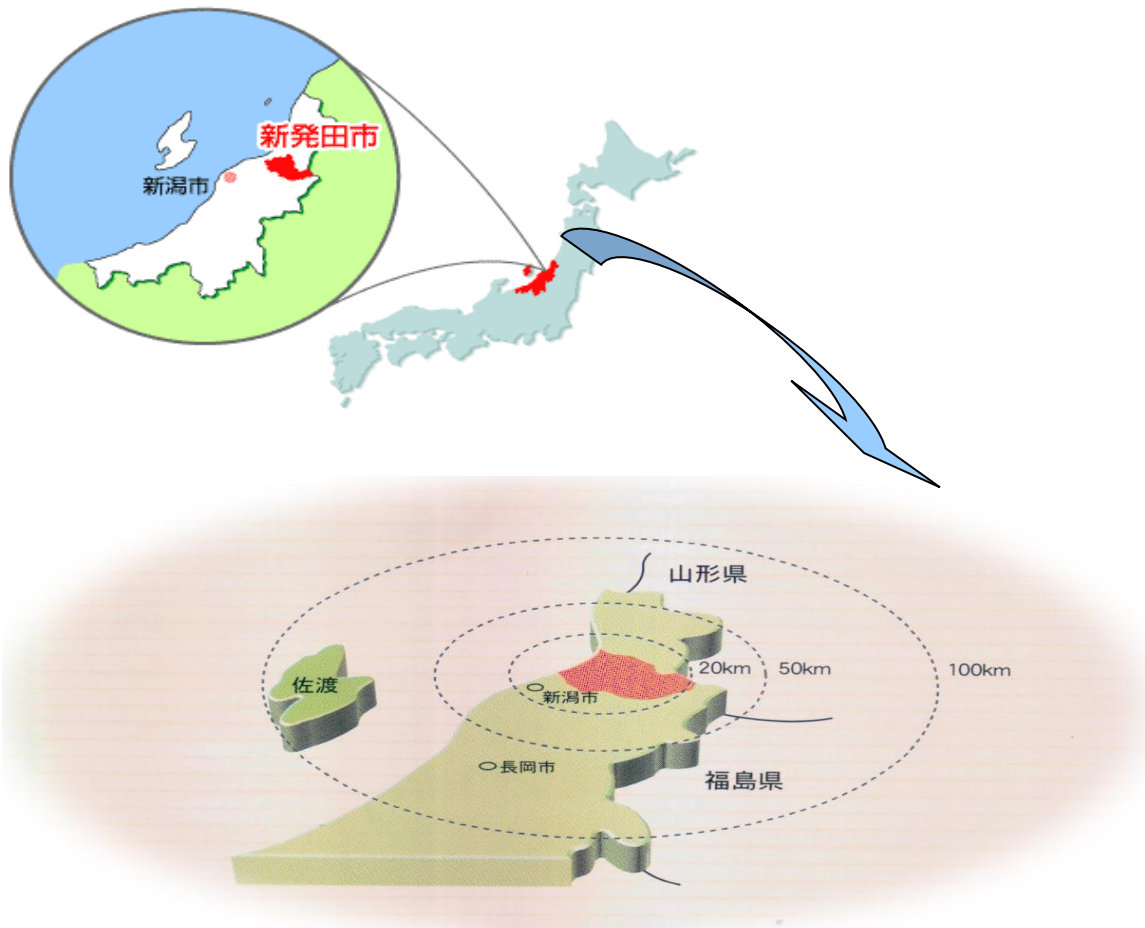
○構成市町	2市1町
○人口	133,035人
○世帯数	53,277世帯
○面積	835.58km ²
○消防体制	1本部(3課・1室) 2署3分署3出張所

1. 消防本部の位置

新潟県北部に位置し、東に日本百名山の飯豊連峰・西に日本海を望む城下町です。

新発田市を中心に加治川、胎内川の清流が潤す穀倉の大平野に発達した地域で、新潟東港コンビナート工業地帯を有し、近くに新潟空港があり観光名所も数多く、更に日本海沿岸東北自動車道の整備が進められ交通アクセスがとても良いエリアに構成3市町が在ります。

所在地 新潟県新発田市新栄町1丁目8番31号
位置 東経 139度18分 北緯 37度57分
海拔 5.34m



2. 新発田地域広域事務組合消防の沿革

- 昭和46年 9月 新発田地域広域事務処理一部事務組合設立
- 昭和47年 3月 新発田地域広域事務処理一部事務組合消防本部及び消防署の設置及び名称並びに消防署の管轄区域を定める条例を制定
- 4月 新発田地域広域事務処理一部事務組合消防制度発足(構成市町村は新発田市、中条町、紫雲寺町、聖籠村、豊浦村、加治川村、黒川村)
消防本部及び新発田消防署、中条消防署設置、新発田市消防職員45名、中条町消防職員30名、消防車両17台で広域消防に移行
初代消防長に宮住栄三郎氏就任
職員6名採用、総員82名の体制で業務を開始
- 6月 消防本部組織規則を制定
- 8月 職員30名採用
- 12月 豊浦村大字乙次字東村中353番地に豊浦出張所を開設
救急車(2B型)豊浦出張所に配置
- 昭和48年 1月 紫雲寺町大字稻荷岡字真野原2371番地に紫雲寺出張所を開設
消防車(BD-1型)、救急車(2B型)紫雲寺出張所に配置
- 3月 聖籠村諏訪山1635番地4に聖籠出張所開設
消防車(BD-1型)、救急車(ジープ)1台、聖籠出張所に配置
黒川村大字黒川1643番地2に黒川出張所を開設
消防車(水槽付)及び黒川村所有の救急車(2B型)1台移管を受け黒川出張所に配置
消防車(BD-1型)、豊浦出張所に配置
- 4月 職員21名採用
- 8月 加治川村大字川口350番地に加治川出張所を開設
救急車(2B型)加治川出張所に配置
職員2名採用
- 9月 消防車(BD-1型)、加治川出張所に配置
各出張所に職員13名配属、消防車及び救急車各1台配置完了
- 11月 豊浦村町制施行
- 昭和49年 1月 救急車(2B型)、聖籠出張所に配置(更新)
- 2月 職員1名採用
- 4月 職員1名採用
- 10月 職員12名採用
- 12月 中条町並びに聖籠村から泡放射車各1台を広域消防へ管理委

- 託あり、中条消防署及び聖籠出張所に配置
- 昭和50年 3月 中条町新和町2番24号に中条消防署を移転
- 4月 職員1名採用
新発田地域広域事務処理一部事務組合の名称を新発田地域広域事務組合に改める。
- 5月 日赤新潟県支部から救急車(2B型) 1台寄贈を受け、新発田消防署に配置(更新)
- 9月 新潟県中条地区総合防災訓練実施
- 10月 新潟県から石油コンビナート防災資機材として原液搬送車1台管理委託あり、新発田消防署に配置
- 昭和51年 7月 新潟東港地区石油コンビナート等特別防災区域に政令指定
- 12月 消防長 宮住栄三郎氏退職
- 昭和52年 1月 第二代消防長(事務取扱)に新発田市長 富樫 会氏就任
職員2名採用
- 3月 救急指令装置(C型)、新発田消防署通信室に設置
- 4月 新潟市並びに豊栄市と当組合の間で、新潟東港地区石油コンビナート等特別防災区域の消防に関する相互応援協定を締結
消防長(事務取扱)新発田市長 富樫 会氏退任
- 5月 第三代消防長に横山 稔氏就任
- 6月 救急車(2B型) 1台購入し、黒川出張所に配置(更新)
- 8月 聖籠村町制施行
新潟県消防ポンプ操法大会ポンプ車の部で中条消防署優勝
- 12月 大型高所放水車(はしご車兼用型30m級) 1台購入し、新発田消防署に配置
職員13名採用
新発田市中央町5丁目4番7号に広域合同庁舎新築し、同庁舎に消防本部を移転
- 昭和53年 3月 新発田市新栄町地内に新発田消防署建設用敷地を取得
指令車(ジープ型) 2台購入し、消防本部並びに中条消防署に配置(中条消防署は更新)
- 4月 豊栄市並びに阿賀北広域事務組合及び岩船地域広域事務組合と当組合の間で、消防相互応援協定を締結
- 6月 水害発生(新発田市で家屋床上浸水258棟、床下浸水1,164棟)
- 7月 聖籠町大字諏訪山字苔沼2350番地1に聖籠分署を開設
(旧出張所は同時閉鎖)
- 10月 日本損害保険協会から消防車(BD-1型) 1台寄贈を受け、新発

- 田消防署に配置(更新)
- 11月 職員7名採用
- 12月 救急車(2B型)、新発田消防署に配置(更新)
- 昭和54年 2月 大型化学車、聖籠分署に配置(新規)
普通化学車(Ⅱ型)、中条消防署に配置(更新)
- 4月 職員2名採用
- 6月 日赤新潟県支部から救急車(2B型)1台寄贈を受け、中条消防署に配置(更新)
- 8月 新潟県消防大会を新発田市で実施
- 10月 日本損害保険協会から消防車(BD-1型)1台寄贈を受け、中条消防署に配置(更新)
- 昭和55年 10月 職員1名採用
- 昭和56年 1月 消防車(CD-1型)、新発田消防署に配置(更新)
- 6月 水害発生(新発田市で家屋床上浸水103棟、床下浸水834棟)
- 10月 新潟県新発田地区総合防災訓練実施
- 11月 消防車(BD-1型)、聖籠分署に配置(更新)
- 12月 日本損害保険協会から救急車(2B型)1台寄贈を受け、豊浦出張所に配置(更新)
- 昭和57年 3月 新発田市新栄町1丁目8番31号に新発田消防署を移転
新発田市中心部5丁目4番7号に中央出張所(旧新発田消防署)を開設職員12名を配属し、消防車(BD-1型)2台配置
4週5休制度試行
- 8月 新潟県消防大会を中条町で実施
職員5名採用
- 11月 消防車(BD-1型)、中央出張所に配置(更新)
- 昭和58年 3月 消防長 横山 稔氏退任
- 4月 第四代消防長に松尾匡知氏就任
職員2名採用
- 7月 日赤新潟県支部から救急車(2B型)1台寄贈を受け、中条消防署に配置(更新)
- 9月 消防車(BD-1型)、豊浦出張所に配置(更新)
- 昭和59年 3月 新発田城南ロータリークラブから防火査察車(軽四輪ジープ型)1台寄贈を受け、消防本部に配置
- 4月 指令車(ジープ型)、消防本部に配置(更新)
消防本部組織規則を一部改正、三課一室(総務課、警防課、予防課、通信室)体制

- 7月 日赤新潟県支部から救急車(2B型)1台寄贈を受け、加治川出張所に配置(更新)
- 12月 消防車(BD-1型)、新発田消防署に配置(更新)
- 昭和60年 5月 新発田消防署管内の専用電話(119番)を本部通信室で集中管理し、火災等案内サービス装置(テレホンサービス)3回線設置
- 11月 消防車(CD-I型)、中条消防署に配置(更新)
普通化学車(II型)、新発田消防署に配置(更新)
- 12月 新発田市大字石喜字村下643番地に川東分遣所を開設職員6名配属、消防車(BD-1型)1台配置
中条消防署管内専用電話(119番)を本部通信室で管理
専用電話(119番)全局集中管理により、出張所配置人員を13名から10名に削減
- 昭和61年 4月 職員2名採用
テレホンサービス2回線増設
- 7月 指令車(四輪駆動)、中条消防署に配置(更新)
- 11月 消防車(BD-1型)、紫雲寺出張所に配置(更新)
- 12月 救急車(2B型)、聖籠分署に配置(更新)
救助工作車、新発田消防署に配置(新規)
- 昭和62年 2月 消防長 松尾匡知氏退任
- 4月 第五代消防長に加藤 亮氏就任
- 6月 連絡車(軽四輪ジープ型)、聖籠分署に配置(新規)
- 7月 4週6休制度試行
- 12月 消防車(水槽付1,700ℓ)、黒川出張所に配置(更新)
- 昭和63年 2月 大型高所放水車(27m級)、聖籠分署に配置(新規)
4週5休制度試行
- 3月 消火薬剤備蓄タンク(10キリットル)一基聖籠分署に設置
- 4月 職員の交替制勤務体制を三部制から二部制に移行
消防職員3名を広域事務組合事務局施設課消防設備係に出向
- 7月 テレホンサービス5回線増設
- 8月 日赤新潟県支部から救急車(2B型)1台寄贈を受け、中条消防署に配置(更新)
- 12月 消防車(BD-1型)、中央出張所及び加治川出張所に配置
- 平成 元年 1月 元号を改める政令公布「平成」を1月8日施行
- 2月 救急車(2B型)1台購入し、黒川出張所に配置(更新)
- 3月 消防長 加藤 亮氏退任
- 4月 第六代消防長に坂田芳雄氏就任

- 7月 4週6休制度実施
- 平成 2年 3月 日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ車（1,700ℓ）の寄贈を受け中央出張所に配置
- 8月 救急車（2B型）、新発田消防署に配置（更新）
- 平成 3年 1月 消防職員意見発表会が初開催
- 3月 危険物引火点試験器を消防本部に配置（新規）
- 4月 職員5名採用
消防本部を新発田消防署と統合するとともに、本部事務所を新発田消防署へ移転し、4月1日付で開設
消防本部のみ土曜閉庁実施
- 5月 危険物安全協会新発田支部から消防本部へ、連絡車（カーリーナバン）1台寄贈
- 10月 15m級はしご付消防ポンプ自動車を、中条消防署へ配置（更新）
これまでの消防職員採用規則を廃止し、新しく「消防吏員任用規程」が公布され、昇任試験制度発足
- 平成 4年 2月 当広域消防発足後初めての消防司令補昇任試験を実施
- 4月 新規職員9名採用
消防職員の将来に向けた高齢化対策として、平成4年度から3ヶ年計画による広域構成市町村への職員派遣を実施、初年度6名をそれぞれ派遣
職員定数を180名に改正
- 5月 消防本部に連絡車(カーリーナバン)購入
消防緊急通信指令施設の整備にともなう検討委員会を設置
- 10月 消防士長昇任試験を実施
- 平成 5年 1月 4週8休制度試行
- 3月 消防長 坂田芳雄氏退任
- 4月 第七代消防長に成澤 強氏就任
職員10名採用
広域構成市町村への職員派遣4名
4週8休制度実施
- 6月 消防緊急通信指令施設補助交付決定
- 9月 特別救助隊の整備
- 10月 救急車(2B型)、豊浦出張所に配置(更新)
- 平成 6年 1月 消防緊急通信指令施設(Ⅱ型)の導入により、消防本部に新たに通信室を増築
- 4月 職員10名採用

- 広域構成市町村への身分替え職員 5 名 (新発田市 2 名 中条町 1 名 聖籠町 1 名 豊浦町 1 名)
 構成市町村への職員派遣 4 名
 消防緊急通信指令施設 (Ⅱ型) の導入に伴ない、消防本部に新たに通信室を通信指令室に改め運用を開始
- 7月 日赤新潟県支部から救急車 (2 B型) 1 台寄贈を受け、紫雲寺出張所に配置 (更新)
- 10月 新発田信用金庫から救急車 (2 B型) 1 台寄贈を受け、中央出張所に配置 (更新)
- 平成 7年 1月 阪神・淡路大震災災害地 (神戸市) へ自治省消防庁からの応援要請で、救急隊員 3 名救急車 1 台派遣 (期間、平成 7 年 1 月 24 日～平成 7 年 1 月 29 日)
- 3月 高規格救急車を、新発田消防署に配置 (更新)
 30m級はしご付消防ポンプ自動車を、豊浦出張所に配置 (更新)
- 4月 広域構成市町村への身分替え職員 2 名 (新発田市 2 名)
 広域構成市町村への職員派遣 2 名
 消防本部の機構を改め副参事制から課長補佐制採用
- 7月 救助用資機材車、中条消防署に配置
 日赤新潟県支部から救急車 (2 B型) 1 台寄贈を受け、中条消防署に配置 (更新)
- 9月 第 9 回 新潟県消防職員駆伝大会を新発田市五十公野公園陸上競技場で実施
- 11月 救急救命士誕生 (1名)
- 平成 8年 1月 原液搬送車 (4,000ℓ)、聖籠分署に配置 (更新)
- 3月 30m級はしご付消防ポンプ自動車を、新発田消防署に配置
 消防車 (CD— I 型)、中条消防署・中央出張所に配置 (更新)
 消防長 成澤 強氏退任
- 4月 第八代消防長に森 忠三氏就任
 広域構成市町村への身分替え職員 3 名 (新発田市 2 名 中条町 1 名)
- 5月 救急救命士 2 名
- 8月 新発田地域広域事務組合消防本部消防職員委員会に関する規則を制定
- 9月 新潟県・新発田市の合同総合防災訓練を新発田市で実施
- 11月 第 1 回消防職員会委員会を開催
- 12月 蒲原沢土石流災害地へ新潟県応援出動計画に基づき支援隊

- 及び指揮隊として、車輛3台職員12名を派遣
 第2次派遣隊～支援隊5名指令車(H8.12.9～12.11)
 第6次派遣隊～指揮隊2名資機材搬送車(H8.12.13～12.15)
 支援隊5名救助工作車(H8.12.13～12.15)
 救急救命士3名
- 平成9年 1月 ロシア船籍ナホトカ号重油流出事故に、構成市町村の自主的なボランティア活動と並行し、パトロール及び油塊回収作業を実施。延べ日数50日間 延べ人数246名(H9.1.13～3.7)
 新発田消防署訓練塔の全面改修工事を実施
- 2月 化学消防ポンプ自動車(I型)、中条消防署に配置(更新)
- 3月 消防長 森 忠三氏退任
- 4月 第九代消防長に畠山邦安氏就任
 職員3名採用
 広域事務組合事務局から身分替え職員1名
 広域構成市町村への身分替え職員2名(新発田市1名 中条町1名)
 広域構成市町村への職員派遣3名、広域消防に復帰(新発田市1名 紫雲寺町1名 黒川村1名)
- 5月 新発田消防署補助訓練塔新設
- 6月 会計検査院第1局大蔵検査が、新発田市、中条町、聖籠町で実施
- 7月 指揮車、消防本部に配置(更新)
 査察車、消防本部に配置(更新)
 査察車、新発田消防署に配置(更新)
- 平成10年 3月 自治体消防50年記念、全国消防職員綱引大会優勝
- 4月 広域構成市町村への派遣職員(加治川村)1名、広域消防に復帰
 救急救命士4名
 指令車1台購入し、中条消防署に配置(更新)
- 6月 救急救命士5名
- 10月 救急車(2B型)、聖籠分署に配置(更新)
- 12月 消防車(CD—I型)、聖籠分署に配置(更新)
- 平成11年 2月 水槽消防ポンプ自動車(I—B型)、新発田消防署に配置(更新)
 救急救命士6名
- 4月 救急救命士7名
- 9月 消防ポンプ自動車(CD—I型)、新発田消防署に配置(更新)
- 平成12年 4月 消防本部組織規則を一部改正、二課一室(総務課・防災課・通

- 信室) 体制
- 6月 高規格救急車を、中条消防署に配置(更新)
救急救命士8名
- 平成13年 3月 消防長 畠山邦安氏退任
- 4月 第十代消防長に安達健一氏就任
職員4名採用
- 5月 会計検査院第1局財務検査課が、新発田市、豊浦町で実施
- 6月 危険物安全協会新発田支部から消防本部へ連絡車1台寄贈
野積みタイヤの火災(紫雲寺町地内)発生、廃タイヤ65,000本
焼き、発生から11時間後の午前6時30分鎮火。(近隣町村消
防団、県防災ヘリ出場)
- 9月 水槽消防ポンプ自動車(I-A型)、紫雲寺出張所に配置(更新)
救急救命士9名
- 10月 大型化学車消防ポンプ自動車(II型)、聖籠分署に配置(更新)
- 12月 救助工作車(II型)、新発田消防署に配置(更新)
救急車(II課程対応)を、黒川出張所に配置(更新)
- 平成14年 1月 「新発田地域広域消防本部」インターネットホームページ開設
- 4月 職員3名採用
- 5月 救急救命士10名
- 6月 高速自動車国道日本海沿岸東北自動車道聖籠・新発田インター
開通
- 8月 エアーテント1張り消防本部に配置(新規)
- 9月 指揮隊車、新発田消防署に配置(更新)
- 10月 連絡車(普通ワゴン車)中条消防署に配置(新規)
高速自動車国道における救急車(II課程対応)を、新発田消防
署に配置(新規)
- 12月 救急救命士11名
- 平成15年 2月 高速自動車国道日本海沿岸東北自動車道中条インター開通
水槽付消防ポンプ自動車(I-A型)加治川出張所に配置(更新)
- 4月 職員4名採用
- 5月 救急救命士12名
- 7月 新発田市・豊浦町合併
(構成市町村は新発田市、中条町、紫雲寺町、聖籠町、加治川
村、黒川村)
救急車(II課程対応)中央出張所に配置(更新)
- 8月 服制基準改正被服貸与全て終了

- 11月 冬山救助資機材一式購入
消防車(CD-I型)中央出張所に配置(更新)
救急救命士13名
- 平成16年 2月 化学消防車(災害対応特殊化学車II型)新発田署に配置(更新)
- 3月 消防長 安達健一氏退任
- 4月 第十一代消防長に佐藤正平氏就任
職員3名採用
被服貸与点数制の試行
- 5月 新発田地域広域事務組合事務決裁規程の一部改正
- 7月 7.13新潟豪雨水害応援出動(三条市)支援隊(救助隊)6隊28名を派遣(H16.7.13~7.16)
- 10月 10.23新潟県中越地震応援出動(長岡市)支援隊(消防隊)
2隊10名(救急隊)11隊33名(警防隊)2隊8名を派遣(H16.10.23~11.12)
- 11月 救急車(II課程対応)豊浦出張所に配置(更新)
- 平成17年 3月 消防長 佐藤正平氏退任
- 4月 第十二代消防長に内本 隆氏就任
職員4名採用
職員の交代制勤務体制を二部制から三部制に移行
消防本部組織規則を一部改正、三課一室(総務課、警防課、予防課、通信室)体制
- 5月 新発田市・紫雲寺町・加治川村合併
(構成市町村は新発田市・中条町・聖籠町・黒川村)
救急救命士14名
- 7月 新発田地域広域事務組合火災予防条例の一部改正
広域議会議員再編成実施(構成は首長・各市町村会議員代表)
- 8月 高規格救急車を新発田署に配置(更新)
- 9月 中条町・黒川村合併(新市は胎内市)
(構成市町は新発田市・胎内市・聖籠町)
胎内市発足に伴い中条消防署から胎内消防署に名称変更
消防本部組織規則を一部改正
- 10月 第19回 新潟県消防職員駅伝大会を新発田市五十公野公園
陸上競技場で実施
- 平成18年 4月 職員9名採用
救急救命士15名
- 5月 救急救命士17名

- 10月 救急車（高規格対応）を聖籠分署、加治川出張所に配置（更新）
全国消防長会 危険物委員会を新発田市月岡（ホテル華鳳）で
開催
- 平成19年3月 消防長 内本 隆氏退任
- 4月 第十三代消防長 今村正博氏就任
職員9名採用
- 5月 救急救命士19名
通信指令室の気象観測装置を更新
- 7月 7.16新潟県中越沖地震応援出動
消火隊1隊5名、救急隊5隊15名、救助隊5隊26名を派遣
(7.16～7.25)
- 10月 消防本部屋上防水改修工事
- 12月 救助工作車を胎内署に配置（更新）
- 平成20年4月 職員8名採用
- 5月 救急救命士22名
- 6月 岩手・宮城内陸地震被災地へ緊急消防援助隊として派遣
消火隊1隊5名、救助隊1隊5名、後方支援1名
- 9月 通信指令システム部分更新～主な内容
① 自動出動指定装置 ②指令台液晶表示装置
③ コムボード（119番代表・専用回線・指令回線等の受付、
無線統制装置）
- 平成21年1月 新発田署車庫増設（資機材搬送車）
- 2月 資機材搬送車（小型移動式クレーン付トラック）新発田消防署
に配置(新規)
消防本部事務室冷暖房機取替修繕工事完了
- 3月 消防本部庁舎北側外壁改修工事
予防査察車（軽自動車）消防本部に配置（更新）
- 4月 職員10名採用
救急救命士24名
新潟東港石油コンビナート地区大容量泡放射システム配備完了
- 7月 高速自動車国道日本海沿岸東北自動車道中条IC～荒川・胎内
インター開通
- 9月 職員3名採用
- 11月 救急普及啓発広報車（財団法人救急振興財団より寄贈）を中央
出張所に配置（新規）
- 12月 水槽付消防ポンプ自動車（I-A）を黒川出張所に配置（更新）

- 平成22年3月 消防長 今村正博氏退任
消防本部庁舎南側外壁改修工事
- 4月 第十四代消防長 長谷川孝志氏就任
職員5名採用
救急救命士26名
全国消防長会東北支部役員会・常任理事会・総会を新発田市
月岡（ホテル華鳳）で開催
- 9月 職員4名採用
- 12月 消防本部庁舎西側外壁改修工事
- 平成23年2月 聖籠分署庁舎改築工事
新発田消防本部訓練塔改修工事
胎内消防署庁舎改築工事
- 3月 3.11東日本大震災被災地（宮城県石巻市）へ緊急消防援助隊
として派遣
消火隊13隊57名、救助隊8隊47名（3月11日～5月5日）
- 4月 職員9名採用
救急救命士29名
- 7月 新潟・福島豪雨応援出動
消火隊1隊4名、救助隊1隊4名、後方支援隊1隊2名（7月30日）
- 12月 高規格救急車（社団法人日本損害保険協会より寄贈）を中央
出張所に配備（更新）
- 平成24年3月 消防長 長谷川孝志氏退任
- 4月 第十五代消防長 高山正成氏就任
職員11名採用
救急救命士32名
- 5月 八箇峠トンネル爆発事故（南魚沼市）応援出動
救助隊2隊10名、後方支援隊2隊2名（5月25日～5月27日）
- 6月 人員搬送車（タンレイ工業株式会社より寄贈）を聖籠分署に
配備（新規）
- 9月 新発田消防署東側に緊急退出路を設置
- 10月 新潟県ドクターヘリ運航開始
広域管内65箇所にランデブーポイントを指定
- 平成25年2月 水槽付消防ポンプ自動車（I-A型、CAFS装置付）を中央出張所
に配置（更新）
- 4月 職員10名採用
救急救命士35名

- 5月 消防救急デジタル無線更新工事（～平成26年3月）
【主な内容】①基地局建設（大峰山、赤谷、胎内平）
②移動局、署所端末受令機整備
③指令台整備
- 8月 消防本部・新発田消防署庁舎耐震工事（～平成26年1月）
胎内消防署庁舎耐震工事（～平成25年12月）
聖籠分署庁舎耐震工事（～平成25年11月）
- 平成26年3月 消防長 高山正成氏退任
- 4月 第十六代消防長 増子信一氏就任
職員9名採用
救急救命士37名
消防救急デジタル無線運用開始
- 9月 大型化学高所放水車を聖籠分署に配置（更新）
- 10月 統合型個別情報通知システムを通信指令室に導入（新規）
- 12月 新発田消防9（支援車）を新発田消防本部に配置（更新）
- 平成27年1月 高規格救急車を胎内消防署に配置（更新）
- 4月 職員8名採用
救急救命士38名
大型化学高所放水車を緊急消防援助隊に新規登録
胎内救急1を緊急消防援助隊に新規登録
- 平成28年2月 消防ポンプ自動車(CD-1型)を新発田消防署に配置(更新)
高規格救急車を新発田消防署に配置（更新）
- 3月 指揮隊車を新発田消防署に配置（更新）
消防長 増子信一氏退任
- 平成28年4月 第十七代消防長 近藤憲久氏就任
職員7名採用
救急救命士41名
- 7月 中央出張所改築工事（～平成29年7月）
- 平成29年1月 高規格救急車を黒川出張所に配置（更新）
- 2月 消防ポンプ自動車(CD—I型)、胎内消防署に配置(更新)
- 4月 職員6名採用
救急救命士44名
- 7月 中央出張所を分署化し中央分署とし運用開始
中央分署長を日勤とし、19名体制とする

平成30年3月	救助工作車を新発田署に配置（更新） 消防長 近藤憲久氏退任
4月	第十八代消防長 古山弘氏就任 職員7名採用 救急救命士46名 中央分署長を当直勤務とし、18名体制とする
平成31年2月	高規格救急車を豊浦出張所に配置（更新）
3月	高規格救急車（伊藤二作氏より寄贈）を中央分署に配置（更新） 消防長 古山弘氏退任
4月	第十九代消防長 高橋広基氏就任 職員7名採用 救急救命士45人
令和元年5月	元号を改める政令公布「令和」を5月1日施行
9月	連絡車を消防本部に配置（更新）
10月	台風19号被災地（長野県長野市）へ緊急消防援助隊として派遣 救助隊5名、水難救助隊5名、後方支援1名（10月13日～15日）
令和2年1月	高規格救急車を聖籠分署に配置（更新）
3月	消防ポンプ自動車(CD—I型)、聖籠分署に配置（更新）
4月	職員4名採用 救急救命士48名 紫雲寺出張所と加治川出張所を統合し、新発田市釜杭地内に さくら分署を開設する
令和3年1月	多目的消防ポンプ車(CD-II型)、胎内消防署に配置（更新）
4月	職員4名採用 救急救命士51名 川東分遣所を閉鎖し、新発田市下羽津地内に川東出張所を 開設する 高規格救急車を川東出張所に配置（新規）
12月	多目的消防ポンプ車(CD-II型)、豊浦出張所に配置（更新）
令和4年1月	高規格救急車をさくら分署に配置（更新）
4月	職員3名採用 救急救命士53名
令和5年3月	消防長 高橋広基氏退任 消防ポンプ自動車(CD—I型)、川東出張所に配置（更新） 化学消防ポンプ自動車(I型)、胎内消防署に配置(更新)
4月	第二十代消防長 椿芳行氏就任

- 職員7名採用
救急救命士57名
- 6月 豊浦出張所移転改築（新発田市乙次地内 豊浦中学校プール跡地）に伴い、各小隊4名体制で運用開始
査察車を胎内消防署に配置（更新）
- 8月 資器材搬送車（新発田中央ロータリークラブより寄贈）を新発田消防署に配置（新規）
- 令和6年1月 1. 1能登半島地震被災地（石川県輪島市）へ緊急消防援助隊として派遣
消火隊7隊34名、救急隊4隊12名（1月1日～15日）
- 3月 消防ポンプ自動車(CD—I型)、胎内消防署に配置（更新）
消防ポンプ自動車(CD—I型)、豊浦出張所に配置（更新）
指揮隊車を胎内消防署に配置（更新）
高規格救急車をさくら分署に配置（更新）
- 4月 職員9名採用
救急救命士60名
新発田地域広域事務組合消防職員の勤務時間等の特例に関する規程の一部を改正し、一斉仮眠を開始（通信勤務員を除く）

3. 構成市町 ・ 管内情勢

- (1) 管内人口 ・ 面積等
- (2) 消防施設等に対する割合
- (3) 消防力の整備指針と現況
- (4) 管内消防本部・署・分署・
出張所の配置図
- (5) 組合消防機構図
- (6) 消防庁舎の現況
- (7) 歴代の消防長

(1) 管内人口・面積等

令和6年4月1日現在

市町名	面積 (Km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	人口密度 (1Km ² 当り)(人)
新発田市	533.11	92,276	37,385	173
胎内市	264.89	27,069	10,860	102
聖籠町	37.58	13,690	5,032	364
計	835.58	133,035	53,277	159

(2) 消防施設等に対する割合

令和6年4月1日現在

消防職員1人に対する			消防署所1に対する			消防ポンプ1台に対する		
面積 (Km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (Km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (Km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
4.6	731	293	104.4	16,629	6,660	83.6	13,304	5,328
182名			2署、3分署、3出張所			10台		

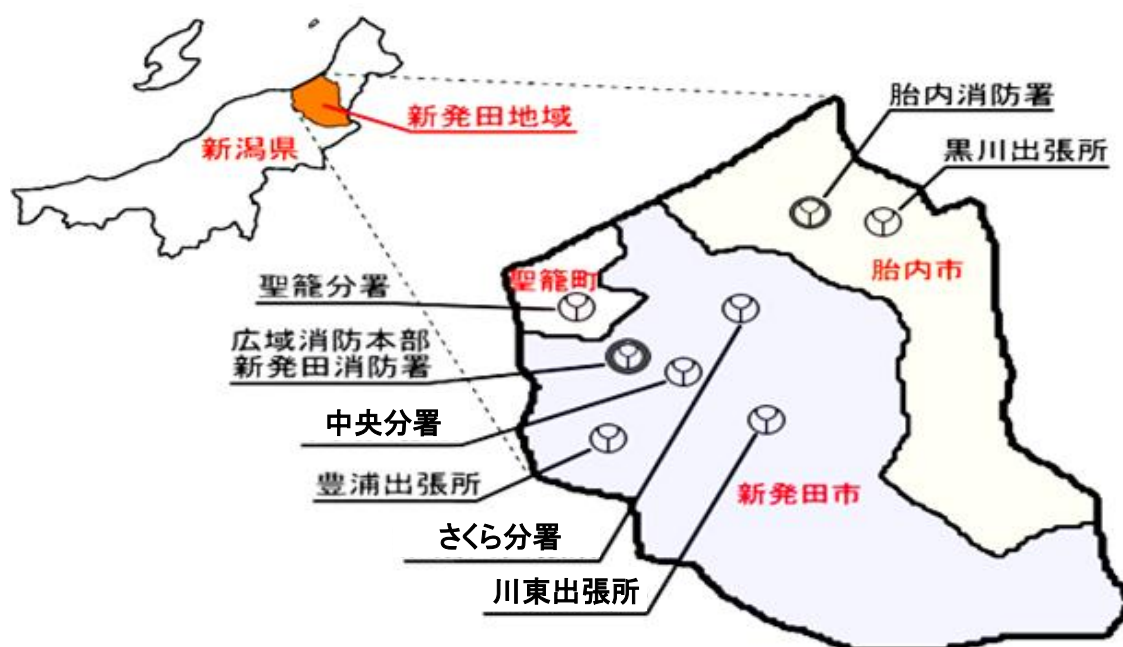
(3) 消防力の整備指針と現況

令和6年4月1日現在

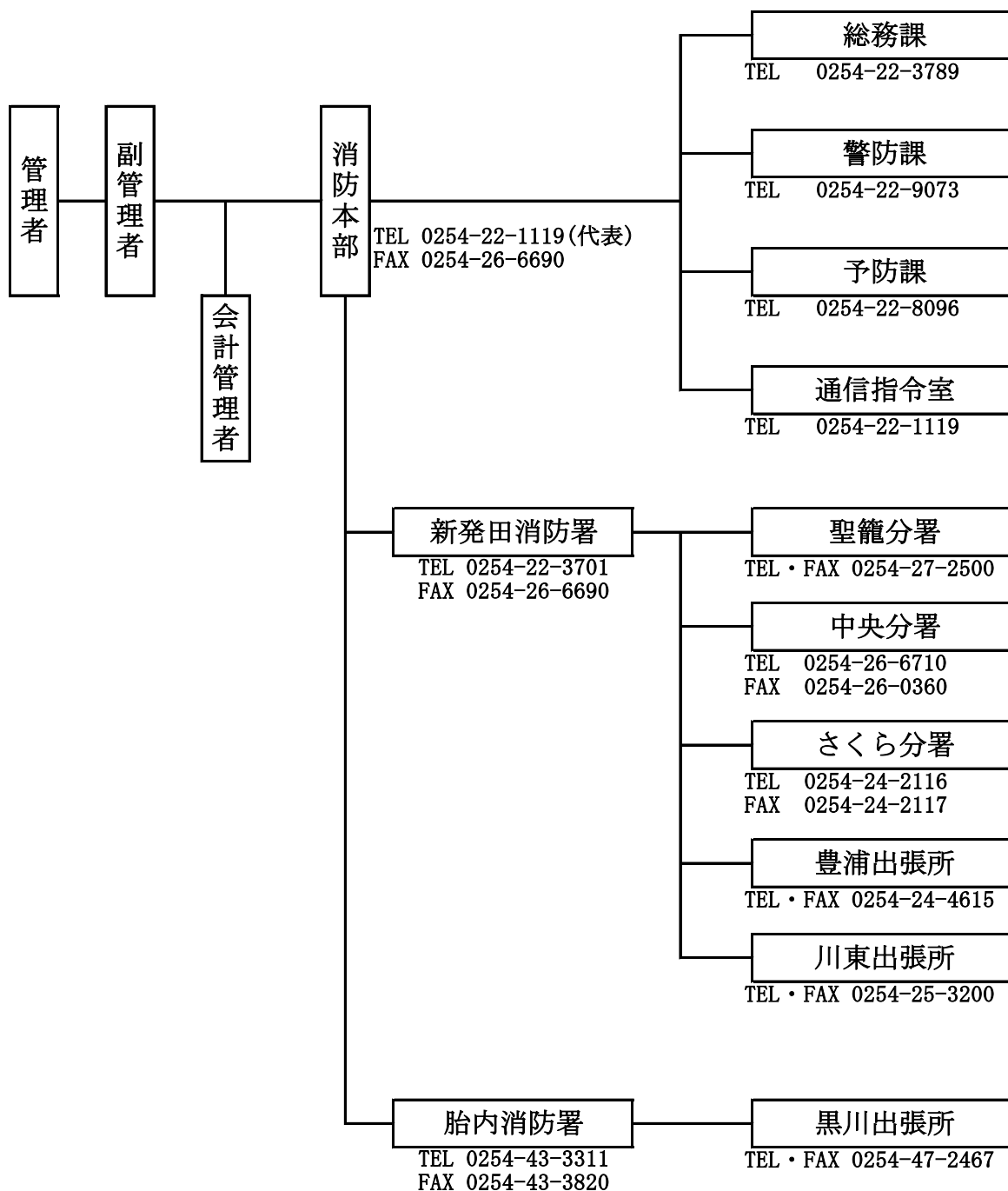
区 分		指 針	現 有	比 較	充足率 (%)	
署 所 数		8	8		100	
動力消防ポンプ		12	12		100	
人 員		298	181	-117	60.7	
救助隊設置状況	省令第3条	隊数	1	1		100
		隊員数	15	12	-3	80
	省令第4条	隊数	1	1		100
		隊員数	15	12	-3	80
救急隊設置状況	専任	隊数	/	5	/	/
		隊員数	/	45	/	/
	兼任	隊数	/	5	/	/
		隊員数	/	45	/	/
救急有資格者数	救命士	/	60	/	/	
	250H	/	115	/	/	

(4) 管内消防本部、署、分署、出張所の配置図

No	本部、署	分署、出張所
1	本 部	—————
2	新発田消防署	—————
3		聖籠分署
4		中央分署
5		さくら分署
6		豊浦出張所
7		川東出張所
8	胎内消防署	—————
9		黒川出張所



(5) 組合消防機構図



(6) 消防庁舎の現況

名 称	所 在 地	構 造	延面積 m ²	敷地面積 m ²	設 置 年月日	建 築 年月日
消 防 本 部 新 発 田 署	新発田市新栄町 1丁目8番31号	RC一部S 2階建	1,529.75	6,701.89	昭和 23.3.30	昭和 57.3.30
胎 内 消 防 署	胎内市新和町2番24号	RC一部S 2階建	683.8	1,985.2	昭和 41.4.1	昭和 50.3.20
聖 籠 分 署	聖籠町大字諏訪山 2350番地1	R C 2階建	541	1,890.43	昭和 48.4.1	昭和 53.6.30
中 央 分 署	新発田市中央町 5丁目4番7号	S 2階建	438.39	1,938.07	昭和 57.4.1	平成 29.7.10
さ くら 分 署	新発田市釜杭324番地	R C 2階建	368.34	1,122.40	令和 2.4.1	令和 2.3.10
豊 浦 出 張 所	新発田市乙次50番地	S 平屋建	328.6	1,005.77	令和 5.6.1	令和 5.5.31
川 東 出 張 所	新発田市下羽津 1908番地	S 平屋建	233.09	472.57	令和 3.4.1	令和 2.12.22
黒 川 出 張 所	胎内市黒川1643-2	R C 平屋建	109	782	昭和 48.4.1	昭和 48.3.31

歴代の消防長

初代消防長	宮住 栄三郎 氏	(昭和46年 4月～昭和51年12月)
第2代消防長	富樫 会 氏	(昭和52年 1月～昭和52年 5月)
第3代消防長	横山 稔 氏	(昭和52年 5月～昭和58年 3月)
第4代消防長	松尾 匡知 氏	(昭和58年 4月～昭和62年 3月)
第5代消防長	加藤 亮 氏	(昭和62年 4月～平成 元年 3月)
第6代消防長	坂田 芳雄 氏	(平成 元年 4月～平成 5年 3月)
第7代消防長	成澤 強 氏	(平成 5年 4月～平成 8年 3月)
第8代消防長	森 忠三 氏	(平成 8年 4月～平成 9年 3月)
第9代消防長	畠山 邦安 氏	(平成 9年 4月～平成13年 3月)
第10代消防長	安達 健一 氏	(平成13年 4月～平成16年 3月)
第11代消防長	佐藤 正平 氏	(平成16年 4月～平成17年 3月)
第12代消防長	内本 隆 氏	(平成17年 4月～平成19年 3月)
第13代消防長	今村 正博 氏	(平成19年 4月～平成22年 3月)
第14代消防長	長谷川 孝志 氏	(平成22年 4月～平成24年 3月)
第15代消防長	高山 正成 氏	(平成24年 4月～平成26年 3月)
第16代消防長	増子 信一 氏	(平成26年 4月～平成28年 3月)
第17代消防長	近藤 憲久 氏	(平成28年 4月～平成30年 3月)
第18代消防長	古山 弘 氏	(平成30年 4月～平成31年 3月)
第19代消防長	高橋 広基 氏	(平成31年 4月～令和 5年 3月)
第20代消防長	椿 芳行 氏	(令和 5年 4月～)

新発田地域広域事務組合消防本部

消防人訓

一、消防人は常に規律を厳正にし心身の鍛錬、技能の練磨に努めること

二、消防人は常にコミュニケーションをはかり組織の総力をあげてあらゆる災害から住民の生命、身体、財産を守ること

三、消防人は常に知性と愛と行動をたかめ、住民の期待と信頼に応えること

4. 財 政 ・ 事 業 ・ 職 員

- (1) 消防予算
- (2) 人口・世帯に対する割合
- (3) 職員及び配置現在員調
- (4) 職員年齢別調
- (5) 職員勤続年数調
- (6) 職員研修受講状況
- (7) 職員資格取得状況

(1) 消防予算

(歳入)

(単位：千円)

区分	令和6年度当初予算額	前年度当初予算額	比較
分担金及び負担金	1,959,381	1,844,746	114,635
使用料及び手数料	9,768	9,754	14
国庫支出金	13,665	0	13,665
財産収入	1	1	0
繰越金	42,612	52,897	△ 10,285
諸収入	4,533	3,427	1,106
組合債	799,800	260,500	539,300
歳入合計	2,829,760	2,171,325	658,435

(歳出)

(単位：千円)

区分	令和6年度当初予算額	前年度当初予算額	比較
消防管理費	30,148	28,390	1,758
常備消防費	1,672,235	1,579,420	92,815
消防施設費	287,466	197,179	90,287
新庁舎整備事業費	683,452	123,331	560,121
公債費（元金）	149,417	231,581	△ 82,164
公債費（利子）	6,042	4,416	1,626
予備費	1,000	7,008	△ 6,008
歳出合計	2,829,760	2,171,325	658,435

(2) 人口・世帯に対する割合

令和6年4月1日現在

消防費予算額	内訳		
	消防管理費	常備消防費	消防施設費
千円	千円	千円	千円
2,829,760	30,148	1,672,235	287,466
管内人口	133,035人	管内世帯	53,277世帯
人口一人当たり	21,271円	一世帯当たり	53,114円

(3) 職員及び配置現在員調

令和6年4月1日現在

署所別等		階級等	計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
定員			190								
実員			182	1	7	26	26	52	31	38	1
消防本部	小計		34	1	5	10	4	5		8	1
	消防長		1	1							
	次長		1		1						
	総務課		13		1	3		1		8	
	警防課		4		1	2		1			
	予防課		5		1	2	1				1
	通信指令室		10		1	3	3	3			
新発田消防署管内	小計		111		1	12	15	35	23	25	
	新発田消防署		35		1	3	10	9	4	8	
	聖籠分署		19			3	1	6	5	4	
	中央分署		18			2	1	7	3	5	
	さくら分署		18			2	1	5	6	4	
	豊浦出張所		12			1	1	4	3	3	
	川東出張所		9			1	1	4	2	1	
胎内消防署管内	小計		37		1	4	7	12	8	5	
	胎内消防署		28		1	3	6	8	7	3	
	黒川出張所		9			1	1	4	1	2	

(4) 職員年齢別調

令和6年4月1日現在

区 分	計	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 職 員
計	182	1	7	26	26	52	31	38	1
25才未満	25							25	
25才～30 "	26						14	12	
30才～35 "	40					25	14	1	
35才～40 "	28				5	20	3		
40才～45 "	25			4	15	6			
45才～50 "	13			9	4				
50才～55 "	19		4	13	2				
55才以上	6	1	3			1			1

(5) 職員勤続年数調

令和6年4月1日現在

区 分	計	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 職 員
計	182	1	7	26	26	52	31	38	1
5年未満	28	1						27	
5年～10 "	26					2	13	11	
10年～15 "	44					27	17		
15年～20 "	38			4	11	22	1		
20年～25 "	13			3	10				
25年～30 "	3			3					
30年～35 "	27		6	16	5				
35年以上	3		1			1			1

(6) 職員研修受講状況

区 分		年 度 別					
		3 1 年 度	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	
消 防 大 学 校	新 任 消 防 長 科					1	
	幹 部 科	1	1				
	警 防 科		1		1		
	予 防 科				1		
	救 助 科				1		
	救 急 科			1			
	危 険 物 科			1			
	火 災 調 査 科						
新 潟 県 消 防 学 校	初任教育	初 任 科	7	4	4	3	7
	専科教育	警 防 科	2	中止 (コロナ)	休止	2	休止
		特 殊 災 害 科	/	/	/	/	2
		救 助 科	2	2	2	2	2
		予 防 査 察 科	休止	休止	2	2	休止
		危 険 物 科	2	2	休止	2	1
		火 災 調 査 科	休止	2	2	休止	2
		救 急 科	5	2	2	2	3
	幹部教育	初 級 幹 部 科	2	休止	休止	2	休止
		中 級 幹 部 科	休止	中止 (コロナ)	2	休止	2
	特別教育	操 法 審 査 員 研 修	2	中止 (コロナ)	休止	2	2
		気 管 挿 管 ・ 薬 剤 投 与 講 習	/	/	/	/	/
		高 度 救 助 コ ー ス	2	2	2	2	
救急救命 研修所	救 急 救 命 士 研 修	1	1	1	1	1	
	指 導 救 急 救 命 士	1			1	1	

(7) 職員資格取得状況

令和6年4月1日現在

自動車運転免許	普通	182	消防設備士	甲種	第1類	1
	中型	5			第2類	
	大型	160			第3類	
	大型Ⅱ種	11			第4類	3
救急Ⅰ課程修了		第5類				
救急隊員資格	救急Ⅰ・Ⅱ課程修了	5		乙種	第4類	3
	救急標準課程修了	110			第5類	
	救急救命士	60			第6類	10
	特殊無線	172			第7類	2
無線技士	アマチュア無線	6			消防設備点検資格	
	甲種	2			第2種	
危険物取扱者	乙種	1類	2	建築士	1級	
		2類	1	小型船舶操縦士	1級	3
		3類	3		2級	39
		4類	160		特殊	23
		5類	3		溶接技能講習修了者	アセチレン
		6類	5	アーク		3
玉掛技能講習修了者		128	予防技術検定資格者		防火査察	90
移動式クレーン		118			消防用設備等	31
足場組立作業主任者					危険物	28
潜水士		78	自動車整備士		3級(C)	
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		6			2級(G)	

5 . 消 防 車 両

- (1) 消防自動車等配置状況
- (2) 小型動力・可搬ポンプ保有台数
- (3) 消防自動車等現有一覧表

(1) 消防自動車等配置状況

令和6年4月1日現在

車種別 所属別		計	消防自動車等										その他					
			計	普通ポンプ車	水槽付消防車	多目的消防車	梯子車	化学車	大型化学高所放水車	原液搬送車	救助工作車	救急車	指令車	計	資機材搬送車	救急普及啓発広報車	広報・査察・連絡車	人員搬送車
計		41	32	2	8	2	1	2	1	1	2	10	3	9	2	1	5	1
消防本部		6	1										1	5		1	3	1
新発田消防署	小計	25	22	1	6	1	1	1	1	1	1	8	1	3	2		1	
	新発田消防署	10	7	1	1		1	1			1	1	1	3	2		1	
	聖籠分署	4	4		1				1	1		1						
	中央分署	3	3		1							2						
	さくら分署	3	3		1							2						
	豊浦出張所	3	3		1	1						1						
	川東出張所	2	2		1							1						
胎内消防署	小計	10	9	1	2	1		1			1	2	1	1			1	
	胎内消防署	8	7	1	1	1		1			1	1	1	1			1	
	黒川出張所	2	2		1							1						

(2) 小型動力・可搬ポンプ保有台数

	新発田消防署	胎内消防署	合計
台数	2台	1台	3台

(3) 消防自動車等現有一覧表

令和6年4月1日現在

	車名	年式 (年)	種別 (名)	ポンプ			積載量	定員
				製作所	形式	級別		
本部	トヨタ	1997	指揮車					8
	スズキ	2009	査察車					4
	日産	2014	査察車					5
	ホンダ	2019	連絡車					5
	日産	2009	救急普及啓発広報車					7
	トヨタ	2012	人員搬送車					21
新発田署	トヨタ	2016	指揮車					5
	日野	2016	ポンプ車	日本機械工業	2段タービン	A2		5
	三菱	1999	水槽付消防車	モリタ	2段タービン	A1	水 1,500ℓ	6
	日野	1996	30m級はしご車	モリタ	2段タービン	A2		6
	日野	2004	化学車	モリタ	2段タービン	A2	水 1,300ℓ 薬剤 500ℓ	6
	日野	2018	救助工作車					6
	トヨタ	2016	査察車					8
	日産	2016	高規格救急車					7
	いすゞ	2009	資機材搬送車				積載量2250kg	3
日産	2023	資機材搬送車				積載量350kg	2	
聖籠分署	日野	2020	水槽付消防車	長野ポンプ	2段タービン	A2	水 1,500ℓ	5
	三菱	1996	原液搬送車	シバウラ	(可搬)	B3	泡消化剤 4,000ℓ	3
	日野	2014	大型化学高所車	モリタ	2段タービン	A1	泡消化剤 1,800ℓ	3
	トヨタ	2019	高規格救急車					7
中央分署	日野	2013	水槽付消防車	モリタ	高圧2段バラン スタービン	A2	水 1,500ℓ	6
	日産	2011	高規格救急車					7
	トヨタ	2019	高規格救急車					7
さくら分署	日野	2003	水槽付消防車	GMいちはら	2段タービン	A2	水 1,500ℓ	6
	トヨタ	2024	高規格救急車					7
	トヨタ	2021	高規格救急車					7
豊浦	日野	2024	水槽付消防車	長野ポンプ	2段タービン	A2	水 1,500ℓ	5
	日野	2021	多目的ポンプ車	モリタ	シングル ポリユート	A2	水 900ℓ	6
	日産	2019	高規格救急車					7
川東	日野	2023	水槽付消防車	長野ポンプ	2段タービン	A2	水 1,500ℓ	5
	日産	2021	高規格救急車					7
胎内署	トヨタ	2024	指令車					6
	日野	2017	ポンプ車	モリタ	2段タービン	A2		5
	日野	2024	水槽付消防車	長野ポンプ	2段タービン	A2	水 1,500ℓ	5
	日野	2020	多目的ポンプ車	モリタ	シングル ポリユート	A2	水 900ℓ	6
	日野	2023	化学車	モリタ	シングル ポリユート	A2	水 1,250ℓ 薬剤 300ℓ	5
	日野	2007	救助工作車					6
	トヨタ	2015	高規格救急車					7
	日産	2023	連絡車					7
黒川	日野	2009	水槽付消防車	モリタ	高圧2段バラン スタービン	A2	水 1,500ℓ	6
	日産	2016	高規格救急車					7

6. 通信指令

- (1) 消防通信施設の状況
- (2) 無線設備
- (3) 緊急通報等受付状況
- (4) 気象警報等の発令状況
- (5) 気象状況

(1) 消防通信施設の状況

令和6年4月1日現在

		合計	大峰 基地局	胎内平 基地局	赤谷 基地局	消 防 本 部	新 発 田 消 防 署	胎 内 消 防 署	聖 籠 分 署	中 央 分 署	さ く ら 分 署	豊 浦 出 張 所	黒 川 出 張 所	川 東 出 張 所		
指 令 電 台		2				2										
報 知 電 話		8				8										
指 令 電 話 (回 線)		12				4	1	1	1	1	1	1	1	1		
加 入 電 話 (回 線)		19				10	1	2	1	1	1	1	1	1		
専 用 電 話 (回 線)		3				3										
新 潟 県 防 災 行 政 無 線		1				1										
フ ァ ク シ ミ リ		10				3		1	1	1	1	1	1	1		
電 話 交 換 機		2				2										
テ レ ホ ン サ ー ビ ス		1				1										
内 線 電 話		40				21	8	9		2						
A V M 端 末 装 置		38				3	9	8	5	3	3	3	2	2		
携 帯 電 話		15				1	3	3	1	2	2	1	1	1		
衛 星 携 帯 電 話		2					1	1								
医 療 端 末 情 報 装 置		1				1										
デ ジ タ ル カ メ ラ		20				4	5	5	1	1	1	1	1	1		
無 線 電 話	デ ジ タ ル 波	基地局	3	1	1	1										
		固定局	2	1			1									
		活動波1	車載 38 携帯 43				3 6	9 10	8 9	5 5	3 3	3 3	3 3	2 2	2 2	
		活動波2	車載 38 携帯 43				3 6	9 10	8 9	5 5	3 3	3 3	3 3	2 2	2 2	
		活動波3	車載 38 携帯 43				3 6	9 10	8 9	5 5	3 3	3 3	3 3	2 2	2 2	
		活動波4	車載 38 携帯 43				3 6	9 10	8 9	5 5	3 3	3 3	3 3	2 2	2 2	
		主運用波1	車載 0 携帯 0				0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
		主運用波2	車載 0 携帯 0				0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
		主運用波3	車載 0 携帯 0				0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
		主運用波4	車載 0 携帯 0				0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
		主運用波5	車載 0 携帯 0				0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
		主運用波6	車載 38 携帯 43				3 6	9 10	8 9	5 5	3 3	3 3	3 3	2 2	2 2	
		主運用波7	車載 0 携帯 0				0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
		統制波1	車載 38 携帯 43				3 6	9 10	8 9	5 5	3 3	3 3	3 3	2 2	2 2	
		統制波2	車載 38 携帯 43				3 6	9 10	8 9	5 5	3 3	3 3	3 3	2 2	2 2	
		統制波3	車載 38 携帯 43				3 6	9 10	8 9	5 5	3 3	3 3	3 3	2 2	2 2	
		ア ナ ロ グ 波	基地局	1				1	0	0	0	0	0	0	0	0
			相互防災波	車載	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0
				携帯	4				4	0	0	0	0	0	0	0

※車載型無線

旧聖籠化学1・新発田消防10 予備として保管中の為、計上せず

※卓上型

新発田消防901 消防本部配備
 新発田消防902 新発田署配備
 胎内消防901 胎内署配備
 聖籠消防901 聖籠分署配備

(2) 無線設備

署所別	呼出名称	種 別	出力w	デジタル波	アナログ波				
					県 波	全 1	全 2	全 3	防 災
基地局	新発田消防大峰山	基地局	10	○					
	〃	固定局	0.01	○					
	新発田消防胎内平	基地局	2	○					
	新発田消防赤谷	基地局	2	○					
消防本部	新発田消防本部	基地局	10						○
	新発田消防	固定局	0.01	○					
	新発田指令 31	移動局	10						○
	新発田指揮 1	車 載	10	○					
	新発田消防 9	車 載	10	○					
	新発田消防 11	車 載	10	○					
	新発田指揮 11	携 帯	5	○					
	新発田消防 21	携 帯	5	○					
	新発田消防 30	携 帯	5	○					
	新発田消防 34	携 帯	5	○					
	新発田消防 35	携 帯	5	○					
	新発田消防 36	携 帯	5	○					
	新発田指揮 12	携 帯	5						○
	新発田タンク 11	携 帯	5						○
	新発田救助 11	携 帯	5						○
新発田消防 901	卓 上	10	○						
新発田消防署	新発田指揮 2	車 載	10	○					
	新発田ポンプ 1	車 載	10	○					
	新発田タンク 1	車 載	10	○					
	新発田化学 1	車 載	10	○					
	新発田救助 1	車 載	10	○					
	新発田梯子 1	車 載	10	○					
	新発田救急 1	車 載	10	○					
	新発田消防 5	車 載	10	○					
	新発田消防 8	車 載	10	○					
	新発田指揮 12	携 帯	5	○					
	新発田指揮 13	携 帯	5	○					
	新発田ポンプ 11	携 帯	5	○					
	新発田タンク 11	携 帯	5	○					
	新発田化学 11	携 帯	5	○					
	新発田救助 11	携 帯	5	○					
	新発田梯子 11	携 帯	5	○					
	新発田救急 11	携 帯	5	○					
	新発田消防 20	携 帯	5	○					
	新発田消防 33	携 帯	5	○					
新発田消防 902	卓 上	10	○						
聖籠分署	聖籠タンク 1	車 載	10	○					
	聖籠原液 1	車 載	10	○					
	聖籠高所 1	車 載	10	○					
	聖籠救急 1	車 載	10	○					
	新発田消防 7	車 載	10	○					
	聖籠タンク 11	携 帯	5	○					
	聖籠原液 11	携 帯	5	○					
	聖籠高所 11	携 帯	5	○					
	聖籠救急 11	携 帯	5	○					
聖籠消防 20	携 帯	5	○						
聖籠消防 901	卓 上	10	○						
さくら分署	さくらタンク 1	車 載	10	○					
	さくら救急 1	車 載	10	○					
	さくら救急 2	車 載	10	○					
	さくらタンク 11	携 帯	5	○					
	さくら救急 11	携 帯	5	○					
さくら救急 12	携 帯	5	○						

署所別	呼出名称	種別	出力w	デジタル波	アナログ波				
					県波	全1	全2	全3	防災
豊浦出張所	豊浦タンク 1	車載	10	○					
	豊浦高所 1	車載	10	○					
	豊浦救急 1	車載	10	○					
	豊浦タンク 11	携帯	5	○					
	豊浦高所 11	携帯	5	○					
	豊浦救急 11	携帯	5	○					
中央分署	中央タンク 1	車載	10	○					
	中央救急 1	車載	10	○					
	中央救急 2	車載	10	○					
	中央タンク 11	携帯	5	○					
	中央救急 11	携帯	5	○					
	中央救急 12	携帯	5	○					
出川出張所東	川東タンク 1	車載	10	○					
	川東救急 1	車載	10	○					
	川東タンク 11	携帯	5	○					
	川東救急 11	携帯	5	○					
胎内消防署	胎内指揮 1	車載	10	○					
	胎内ポンプ 1	車載	10	○					
	胎内タンク 1	車載	10	○					
	胎内化学 1	車載	10	○					
	胎内救助 1	車載	10	○					
	胎内高所 1	車載	10	○					
	胎内救急 1	車載	10	○					
	胎内消防 6	車載	10	○					
	胎内指揮 11	携帯	5	○					
	胎内指揮 12	携帯	5	○					
	胎内ポンプ 11	携帯	5	○					
	胎内タンク 11	携帯	5	○					
	胎内化学 11	携帯	5	○					
	胎内救助 11	携帯	5	○					
	胎内高所 11	携帯	5	○					
	胎内救急 11	携帯	5	○					
胎内消防 20	携帯	5	○						
胎内消防 901	卓上	10	○						
出黒出張所川	黒川タンク 1	車載	10	○					
	黒川救急 1	車載	10	○					
	黒川タンク 11	携帯	5	○					
	黒川救急 11	携帯	5	○					
合計				87	0	0	0	0	5

※デジタル波：消防波1・2、救急波1・2、主運用波、統制波1・2・3
デジタル波の各無線設備は、チャンネル切替により全デジタル波使用可能。

※川東タンク1 令和5年4月1日～運用開始

(3) 緊急通報等受付状況

(イ) 災害別通報受付件数

令和5年1月1日～令和5年12月31日

種・月・別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火 災 通 報	1 1 9 番	0	1	5	5	3	2	1	4	0	2	3	1	27
	警 察 電 話	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	加 入 電 話	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	緊急ファクシミリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他 通 報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救 急 通 報	1 1 9 番	469	401	475	428	469	412	516	714	480	489	457	541	5851
	警 察 電 話	9	9	7	8	9	8	7	8	11	14	11	15	116
	加 入 電 話	61	41	55	45	52	62	63	69	56	42	45	58	649
	緊急ファクシミリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他 通 報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救 助 通 報	1 1 9 番	1	1	3	0	1	2	1	0	0	0	0	0	9
	警 察 電 話	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	加 入 電 話	2	1	1	1	3	1	0	0	0	1	0	1	11
	緊急ファクシミリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他 通 報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
警 戒 通 報	1 1 9 番	2	3	2	2	2	3	4	5	5	3	5	3	39
	警 察 電 話	0	0	0	2	0	1	1	1	0	2	0	1	8
	加 入 電 話	11	9	13	9	10	18	15	22	24	16	29	18	194
	緊急ファクシミリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他 通 報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計 ①		555	467	561	500	549	509	609	823	577	569	551	639	6909
その他 119 番通報	N T T 試 験	31	21	39	37	37	24	36	18	39	29	34	43	388
	問 合 わ せ 等	185	147	235	193	246	311	302	274	225	255	248	210	2831
小 計 ②		216	168	274	230	283	335	338	292	264	284	282	253	3219
計 ①+②		771	635	835	730	832	844	947	1115	841	853	833	892	10128

(1) 緊急ファクシミリ通報は、平成9年4月から実施。

(2) 通報欄（※救急同時出動・※救助同時出動）は、件数に含まない。

(ロ) 通報内容別受付件数

令和5年1月1日～令和5年12月31日

種・月・別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
災害 通報	火災	0	2	5	5	3	2	1	4	1	2	4	2	31
	救急	539	451	537	481	530	482	586	791	547	545	513	614	6616
	救助	3	2	4	1	4	3	2	0	0	1	0	1	21
	上記以外の 災害	13	12	15	13	12	22	20	28	29	21	34	22	241
	小計	555	467	561	500	549	509	609	823	577	569	551	639	6909
その他の 通報	いたづら	1	2	3	2	0	0	3	3	0	2	2	0	18
	間違い通報	47	42	40	42	51	55	56	51	31	24	21	25	485
	その他	168	124	231	186	232	280	279	238	233	258	259	228	2716
	小計	216	168	274	230	283	335	338	292	264	284	282	253	3219
合計	771	635	835	730	832	844	947	1115	841	853	833	892	10128	

(通報手段別受付件数)

固定 119	279	222	282	259	280	268	331	317	291	294	304	305	3432
携帯 119	315	262	329	277	329	372	407	549	327	316	301	356	4140
IP 119	165	142	215	182	208	190	196	239	207	224	215	214	2397
合計	759	626	826	718	817	830	934	1105	825	834	820	875	9969

※「火災救急・救助以外の災害、事案」とは警戒、危険物漏洩、自火報鳴動等消防職員が119番通報を受けて出動、出向する災害または事案を指す。この出動、出向の際の消防車等、緊急車の赤色灯の点灯、サイレンの鳴動の有無は問わない。

※「その他」の通報には自衛消防訓練等に伴う訓練通報、問い合わせ、または「いたづら」「間違い」が判然としない場合等、分類が不能・困難な通報も含まれる。

(4) 気象警報等の発令状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日

区 分	月 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
		警 報	大 雨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
洪 水	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大 雪	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
暴風雪	4		3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
暴 風	2		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
波 浪	5		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
注 意 報	大 雨	17	0	0	0	0	1	4	1	1	4	3	2	1
	洪 水	13	0	0	0	0	1	2	0	1	4	4	0	1
	強 風	60	8	3	2	7	5	4	3	2	4	5	7	10
	波 浪	43	9	4	2	4	0	1	1	0	1	5	7	9
	雷	116	12	10	4	4	4	9	10	23	9	11	10	10
	乾 燥	22	0	1	6	6	3	2	0	3	0	1	0	0
	濃 霧	49	4	4	7	5	3	1	0	0	0	10	8	7
	大 雪	8	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	風 雪	14	6	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	着 雪	7	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	雪 崩	12	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	低 温	12	3	7	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	融 雪	11	1	1	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	霜	43	0	0	10	17	6	1	0	0	0	0	6	3
高 潮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	439	62	44	38	46	23	25	15	30	22	39	40	55	

(5) 気象状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日

区分		合計 (平均)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
天	快晴・晴	170	8	10	17	20	17	12	19	22	18	12	9	6
		(14)												
候	曇・薄曇	93	5	8	7	8	7	9	6	3	10	10	10	10
		(7)												
候	雨	81	8	1	7	2	7	9	6	6	2	9	11	13
		(6)												
候	雪(みぞれ)	21	10	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		(1)												
最多風向			北西	北西	南東	南南西	北	北	北	南東	南東	南東	南南東	南
風速 (m/s)	最大	20.0	25.9	18.8	19.8	21.7	14.6	15.8	17.6	21.1	14.5	21.7	23.9	24.2
	平均	2.8	3.6	3.0	2.4	2.9	2.5	2.6	2.4	2.9	2.3	2.6	3.2	2.9
気温 (°C)	最高	26.9	14.3	14.9	23.9	26.2	32.4	30.6	35.4	38.7	36.2	25.4	27.2	17.8
	最低	6.7	-5.9	-3.8	0.0	2.3	6.1	12.4	19.4	23.7	15.9	8.6	2.4	-1.2
	平均	15.3	2.4	2.7	9.1	12.7	17.1	22.4	26.6	30.9	25.7	16.4	11.9	5.8
湿度 (%)	最高	98.7	98.8	98.8	98.8	98.8	98.8	98.8	98.8	97.2	98.8	98.8	98.8	99.1
	最低	32.6	39.9	29.9	16.1	20.0	24.1	31.3	40.2	35.0	36.6	41.1	33.3	43.6
	平均	81.8	89.2	87.4	74.5	72.7	77.4	82.2	85.3	72.5	82.9	83.9	83.2	89.8
総降雨量(m/m)		142.1	100.0	81.0	73.0	67.5	153.0	180.0	131.5	0.0	164.5	238.5	225.5	291.0
総降雪量(cm)		33.3	35.0	44.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21.0

7. 火災と予防

- (1) 令和5年の火災と前年比較
- (2) 管内市町別火災の状況
- (3) 月別出火件数と損害額
- (4) 既往10年間の火災状況
 - イ. 概況
 - ロ. 原因別火災件数
 - ハ. 月別火災件数
 - ニ. 覚知別火災件数
- (5) 防火対象物数(延面積150㎡以上)
- (6) 消防用設備等の設置を要する
防火対象物数
- (7) 消防用設備等の点検報告を
要する防火対象物数
- (8) 防火管理者選任等の状況
- (9) 建築同意事務処理状況
- (10) 用途別建築同意事務処理状況

(1) 令和5年の火災と前年比較

区 分	単 位	令和5年	令和4年	増減(A-B)	C/B×100%
		A	B	C	
出 火 件 数	件	31	21	10	47.6
建 物	〃	24	16	8	50.0
林 野	〃	1		1	—
車 両	〃		2	△ 2	△ 100.0
船 舶	〃				—
航 空 機	〃				—
そ の 他	〃	6	3	3	100.0
(爆 発)	〃				—
焼 損 棟 数	棟	34	32	2	6.3
全 焼	〃	7	8	△ 1	△ 12.5
半 焼	〃	1	1		
部 分 焼	〃	13	11	2	18.2
ぼ や	〃	13	12	1	8.3
建 物 焼 損 面 積	m ²	2,546.0	1,828.0	718.0	39.3
林 野 焼 損 面 積	a	230	23	207.0	900.0
死 者	人	2	2		
負 傷 者	人	6	7	△ 1	△ 14
り 災 世 帯 数	世 帯	9	24	△ 15	△ 62.5
全 損	〃	1	5	△ 4	△ 80.0
半 損	〃	1		1	—
小 損	〃	7	19	△ 12	△ 63.2
り 災 人 員	人	27	53	△ 26	△ 49.1
損 害 額	千 円	76,043	113,821	△ 37,778	△ 33.2
建 物	〃	76,041	110,183	△ 34,142	△ 31.0
林 野	〃				—
車 両	〃		3,634	△ 3,634	△ 100.0
船 舶	〃				—
航 空 機	〃				—
そ の 他	〃	2	4	△ 2	△ 50.0
(爆 発)	〃				—
出 火 率	件	2.3	1.5	0.8	53.3

※出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。

(2) 管内市町別火災の状況

区分 市町別	火 災 件 数						爆発 件数	焼 損 棟 数					り 災 世 帯 数			
	計	建物	林野	車両	船舶	その他		計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損
新 発 田 市	15	13				2		23	6	1	11	5	6	1	1	4
胎 内 市	13	9	1			3		9	1		1	7	2			2
聖 籠 町	3	2				1		2			1	1	1			1
合 計	31	24	1	0	0	6	0	34	7	1	13	13	9	1	1	7

区分 市町別	り 災 人 員	死 者	負 傷 者	焼 損 面 積		火 災 損 害 額 (千円)						出 火 率	
				建 物 (㎡)	林 野 (a)	建 物	林 野	車 両	その他	船 舶	合 計		
新 発 田 市	18	2	4	2,494.0	33	74,844						74,844	1.6
胎 内 市	2		2	27.0	197	479				2		481	4.8
聖 籠 町	7			25.0		718						718	2.1
合 計	27	2	6	2,546.0	230	76,041	0	0	2	0		76,043	2.3

※損害額合計は、火災時の火災種別に全て含むもの。

(3) 月別出火件数と損害額

(千円)

区分	月別	1	2	3	4	5	6
火 災 件 数			1	5	6	3	3
損 害 額			8	1,006	3,719	2,990	1,104

区分	月別	7	8	9	10	11	12
火 災 件 数		2	4	1	2	3	1
損 害 額			5,472		197	6,167	55,380

(4) 既往10年間の火災状況

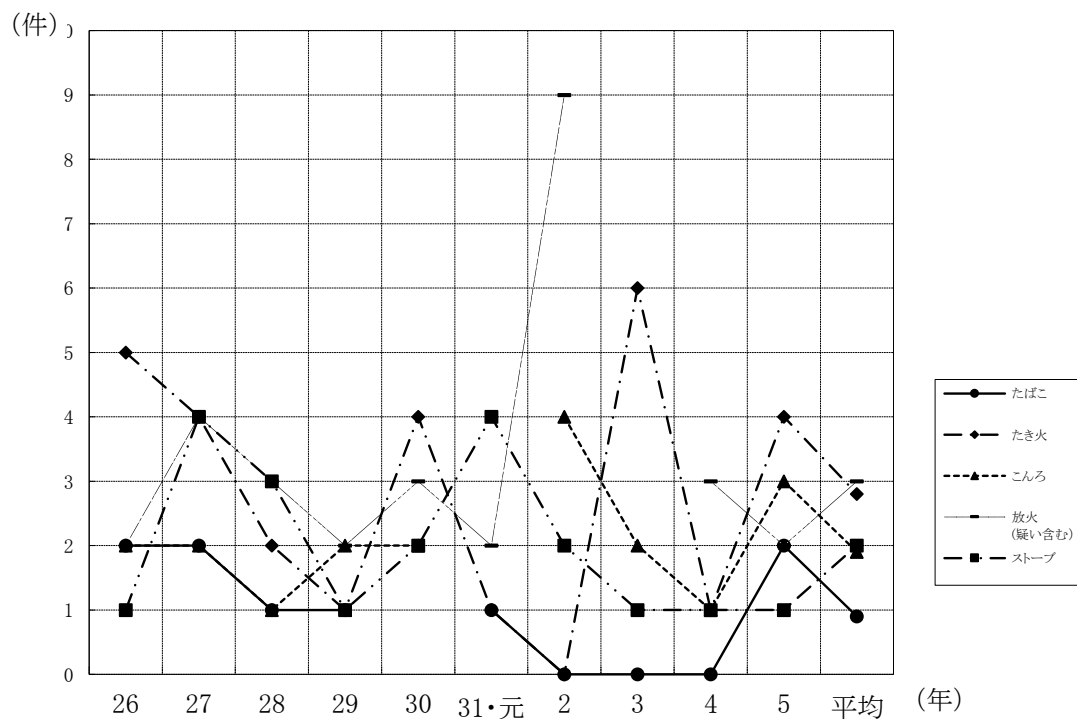
イ. 概況

区分 年別	火災件数																
	合計	建物											林野	車両	船舶	航空機	その他
		計	住宅	共同住宅	劇場	物品販売店舗	旅館ホテル	病院診療所	福祉施設	学校	文化財	その他					
26	34	22	12			1						9	3	1			8
27	33	25	15								1	9		2			6
28	34	26	14									12		6			2
29	15	13	10									3		1			1
30	39	26	17	1				1				7	1	7			5
31・元	22	16	12	1								3		4			2
2	29	20	11							1		8	2	3			4
3	32	17	4	2		1	1					9		5			10
4	21	16	10			1				1		4		2			3
5	31	24	9	1		1						13	1				6
平均	29	20.5	11.4	0.5		0.4	0.1	0.1		0.2	0.1	7.7	0.7	3.1			4.7

区分 年別	焼損棟数					り災世帯数				り 災 人 員	焼損面積		損 害 額 (千円)
	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	全 損	半 損	小 損		建物 (㎡)	林野 (a)	
27	38	10	2	11	15	23	6	1	16	70	2,313		128,100
28	44	19	1	9	15	27	9	1	17	86	3,162		126,815
29	25	10	1	5	9	10	4	1	5	24	4,947		192,695
30	58	19	3	11	25	25	10	2	13	73	4,523	75	152,505
31・元	32	10	1	10	11	14	2		12	27	2,831		105,305
2	34	12	1	8	13	15	3	1	11	47	1,763	30	28,642
3	31	10		6	15	11	3		8	23	1,223	115	42,907
4	32	8	1	11	12	24	5		19	53	1,828	23	113,821
5	34	7	1	13	13	9	1	1	7	27	2,546	230	76,043
平均	37.1	12.2	1.5	9.5	13.9	17.7	4.9	0.8	12	49	2,696.5	50.6	105,826

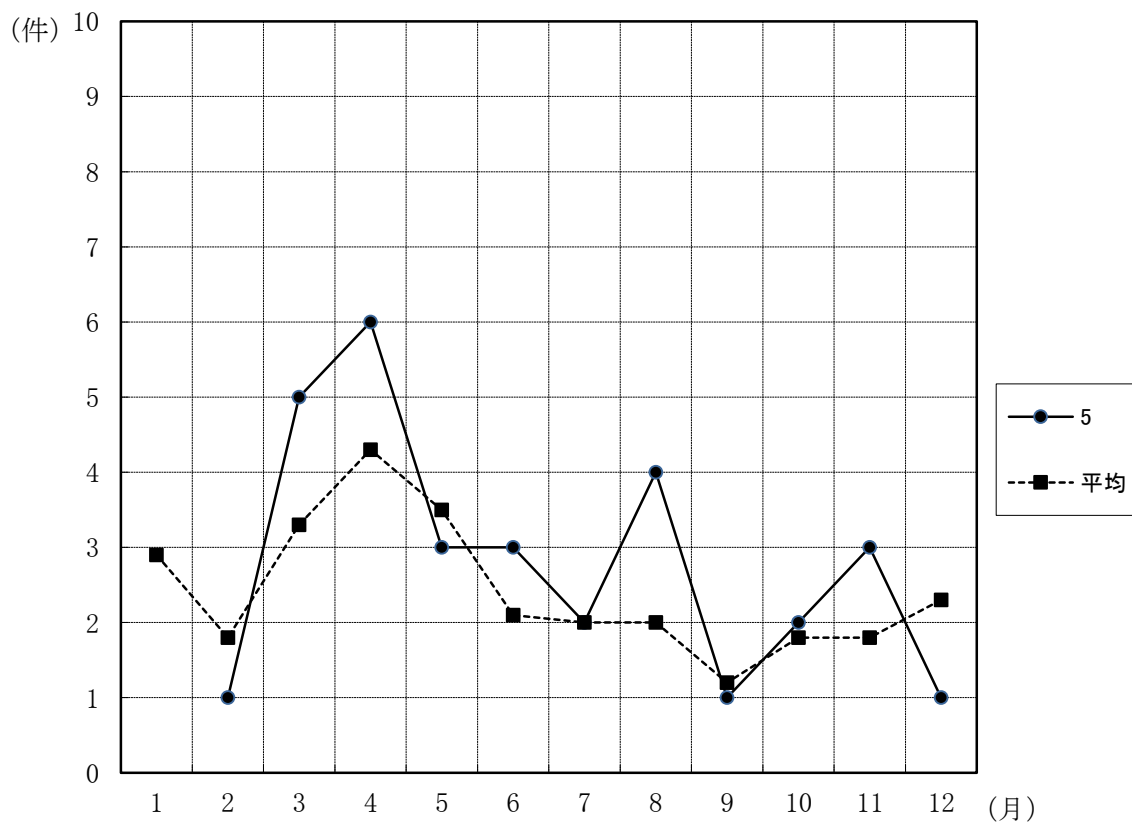
ロ. 原因別火災件数

原因 年別	計	た ば こ	た き 火	火 あ そ び	こ ん ろ	放 火 (疑 い 含 む)	風 呂 か ま ど	ス ト ー ブ	マ ラ イ タ ー チ	煙 道 ・ 煙 突	電 気 機 器 等	電 気 配 線	そ の 他	不 明
26		2	5		2	2		1	2		3	11	6	
27	33	2	4		2	4		4			8	4	5	
28	34	1	2		1	3	1	3		1	6	12	4	
29	15	1	1		2	2	1	1			4	2	1	
30	39		4		2	3		2			9	9	10	
31・元	22	1	1	1		2		4			3	9	1	
2	29				4	9		2			4	6	4	
3	32		6		2			1	1		6	7	9	
4	21		1		1	3		1			4	5	6	
5	29	2	4	1	3	2		1	1		4	7	4	
平均	25.4	0.9	2.8	0.2	1.9	3.0	0.2	2.0	0.4	0.1	5.1	7.2	5.0	



ハ. 月別火災件数

年別 \ 月別	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
26	34	3	1	3	7	8		1	2	2		4	3
27	33	1	2	3	7	7	2	1	1	1	4	1	3
28	34	5	2	4	4	3	3	3	4	1	2	1	2
29	15	2		3		1	2	2		1	1	2	1
30	39	4	2	5	5	4	3	3	5	1	3	1	3
31・元	22	3		6	4	2	3	1	1	1	1		
2	29	6	4	2	1	4	1	1	1	1	2		6
3	32	3	3	1	8	3	2	3	1	2	3	3	
4	21	2	3	1	1		2	3	1	1		3	4
5	31		1	5	6	3	3	2	4	1	2	3	1
平均	29.0	2.9	1.8	3.3	4.3	3.5	2.1	2.0	2.0	1.2	1.8	1.8	2.3



二. 覚知別火災件数

覚知別 年別	合 計	火災報知 専用電話	一般加入 電 話	警察専用 電 話	駆け付け	事後聞知	そ の 他
26	34	29	1	1		3	
27	33	25		2		6	
28	34	29	3	1		1	
29	15	11	2			1	1
30	39	28		5	1	4	1
31.元	22	16	1	3		2	
2	29	23	2	3		1	
3	32	29				3	
4	21	15	1	2		3	
5	31	23		1		7	
平均	29.0	22.8	1.0	1.8	0.1	3.1	0.2

(5) 防火対象物数(延面積150㎡以上)

令和6年3月31日現在

防火対象物の区分		総数	地上 5階 未満	地上 5階 以上	小計	うち 地下 1階 以下
(1)	イ	劇場、映画館、観覧場	9	9		9
	ロ	公会堂	100	100		100
(2)	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブの類	1	1		1
	ロ	遊技場又はダンスホール	13	13		13
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類				
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための個室	3	3		3
(3)	イ	待合、料理店の類	6	6		6
	ロ	飲食店	140	139	1	140
(4)		百貨店、マーケット展示場等	265	265		265
(5)	イ	旅館、ホテル、又は宿泊所	62	50	12	62
	ロ	寄宿舎、下宿、又は共同住宅	453	439	14	453
(6)	イ	病院、診療所、助産所	90	88	2	90
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	65	65		65
	ハ	デイサービスセンター、保育所等	115	115		115
	ニ	幼稚園、特別支援学校	4	4		4
(7)		小、中、高、大学校、各種学校等	128	124	4	128
(8)		図書館、博物館、美術館の類	20	20		20
(9)	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類				
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	4	4		4
(10)		車両の停車場等	3	3		3
(11)		神社、寺院、教会の類	125	125		125
(12)	イ	工場、作業場	863	858	5	863
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ				
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	79	78	1	79
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫				
(14)		倉庫	645	645		645
(15)		前各号に該当しない事業場	1,137	1,130	7	1,137
(16)	イ	特を有する複合用途防火対象物	246	236	10	246
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	81	80	1	81
(16)の2		地下街				
(16)の3		準地下街				
(17)		重要文化財	16	16		16
合計			4,673	4,616	57	4,673

(6) 消防用設備等の設置を要する防火対象物数

令和6年3月31日現在

防火対象物	消防設備等	自動火災報知設備	ガス漏れ火災報知設備	スプリンクラー設備	屋内消火栓設備	漏電火災警報設備	水噴霧消火設備等	非常警報設備	屋外消火栓設備	避難器具	排煙設備	誘導灯	動力消防ポンプ	消防用水	連結散水設備	連結送水管
(1)	イ	6			4			6				8				
	ロ	44			15			98	1	4		103				
(2)	イ							2				3				
	ロ	12			5		1	7		1		13				1
	ハ															
(3)	イ	6			2					2		6				
	ロ	65			3			38		38		239				
(4)		163		10	30		5	99	4	5	3	268		2		
(5)	イ	120	1	3	23		2	25		22		61	1			7
	ロ	92		1	8		2	27		54		43	1			3
(6)	イ	45	1	5	3			15		10		99		1		3
	ロ	63	1	58	9			14		9		61				1
	ハ	104		5	21			11		15		138				
	ニ	4			2					1		4				
(7)		106	2		77			37	2	25		47		1		
(8)		10			1		1	5		2		10				
(9)	イ											1				
	ロ	2						3				4				
(10)		1										2				
(11)		8						43	1	1		5				
(12)	イ	459	2		159		45	8	82	7		163	38	24		2
	ロ															
(13)	イ	17			2		7	1		1		9				1
	ロ															
(14)		296		1	72			3	33	1		115	18	9		
(15)		244	2	3	75		10	59	10	22		197	6	3		3
(16)	イ	119	1	11	20		1	37	3	30	5	190		1		2
	ロ	21	1	1	3		1	4	1	2	1	17	1			
(16)の2																
(16)の3																
(17)		15					1		1			2		1		
合計		2,025	11	98	534		76	542	138	253	9	1,811	65	42		23

(7) 消防用設備等の点検報告を要する防火対象物数

令和6年3月31日現在

防火対象物の区分		総数	点検を要する防火対象物			
			1,000㎡未満	1,000㎡以上	(再掲)特定一階段等	
(1)	イ	劇場、映画館、観覧場	8	4	4	
	ロ	公会堂	123	110	13	
(2)	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブの類	2	2		
	ロ	遊技場又はダンスホール	13	5	8	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類				
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための個室	3	3		
(3)	イ	待合、料理店の類	4	1	3	
	ロ	飲食店	231	225	6	1
(4)		百貨店、マーケット展示場等	270	192	78	1
(5)	イ	旅館、ホテル、又は宿泊所	76	51	25	3
	ロ	寄宿舎、下宿、又は共同住宅	379	331	48	
(6)	イ	病院、診療所、助産所	85	76	9	
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	63	30	33	
	ハ	デイサービスセンター、保育所等	113	83	30	1
	ニ	幼稚園、特別支援学校	4		4	
(7)		小、中、高、大学校、各種学校等	119	34	85	
(8)		図書館、博物館、美術館の類	19	15	4	
(9)	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類	1	1		
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	5	5		
(10)		車両の停車場等	2	2		
(11)		神社、寺院、教会の類	98	91	7	
(12)	イ	工場、作業場	647	392	255	
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ				
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	86	80	6	
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫				
(14)		倉庫	591	441	150	
(15)		前各号に該当しない事業場	937	746	191	
(16)	イ	特を有する複合用途防火対象物	215	161	54	
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	54	40	14	
(16)の2		地下街				
(16)の3		準地下街				
(17)		重要文化財	12	11	1	
合計			4,160	3,132	1,028	6

(8) 防火管理者選任等の状況

令和6年3月31日現在

防火対象物の区分		法第8条該当対象物	総 数	甲種		乙種		消届 防出 計済 画数
				対物 象数	選出 任済 届数	対物 象数	選出 任済 届数	
(1)	イ	劇場、映画館、観覧場	6	5	5	1		3
	ロ	公会堂	153	53	46	100	55	42
(2)	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブの類	1			1		
	ロ	遊技場又はダンスホール	10	10	9			8
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類						
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための個室	3	3	3			3
(3)	イ	待合、料理店の類	4	4	4			2
	ロ	飲食店	110	69	63	41	38	49
(4)		百貨店、マーケット展示場等	175	145	134	30	20	98
(5)	イ	旅館、ホテル、又は宿泊所	45	45	45			46
	ロ	寄宿舎、下宿、又は共同住宅	24	23	10	1	1	6
(6)	イ	病院、診療所、助産所	16	16	15			12
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	45	45	45			42
	ハ	デイサービスセンター、保育所等	69	67	66	2	2	58
	ニ	幼稚園、特別支援学校	4	4	4			3
(7)		小、中、高、大学校、各種学校等	58	57	56	1	1	41
(8)		図書館、博物館、美術館の類	13	6	6	7	7	9
(9)	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類						
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	2	1	1	1	1	2
(10)		車両の停車場等						
(11)		神社、寺院、教会の類	54	40	31	14	8	7
(12)	イ	工場、作業場	63	63	62			51
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ						
(13)	イ	自動車車庫、駐車場						
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫						
(14)		倉庫	8	7	7	1	1	3
(15)		前各号に該当しない事業場	104	90	85	14	10	60
(16)	イ	特を有する複合用途防火対象物	81	71	64	10	7	50
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	10	8	8	2		4
(16)の2		地下街						
(16)の3		準地下街						
(17)		重要文化財	4	3	3	1	1	3
合計			1,062	835	772	227	152	602

(9) 建築同意事務処理状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

区分 工事別	確 認			許 可			計 画 通 知	取 扱 件 数
	同 意	条 件 付 同 意	不 同 意	同 意	条 件 付 同 意	不 同 意		
新 築	134			13			3	132
増 築	36			1			2	53
改 築	3							9
増 改 築								
移 転								
修 繕								2
模 様 替								
用 途 変 更								7
仮 設								
計	173			14			5	192

(10) 用途別建築同意事務処理状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

用途区分		区分	構造別			階数		
			木造 及び その他	準 耐火	耐火 構造	2階 以下	3階 4階	5階 以上
(1)	イ	劇場、映画館、観覧場	1			1		
	ロ	公会堂、集会場	1			1		
(2)	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブの類						
	ロ	遊技場またはダンスホール						
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類						
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための個室						
(3)	イ	待合、料理店の類						
	ロ	飲食店	5			5		
(4)		百貨店、マーケット、展示場等	3		1	4		
(5)	イ	旅館、ホテル又は宿泊所						
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅		2		2		
(6)	イ	病院、診療所又は助産所						
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	1			1		
	ハ	デイサービスセンター、保育所	2			2		
	ニ	幼稚園、特別支援学校						
(7)		小、中、高、大学校、各種学校等	1		1	1	1	
(8)		図書館、博物館、美術館の類						
(9)	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類						
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場						
(10)		車両の停車場等						
(11)		神社、寺院、教会の類	1			1		
(12)	イ	工場、作業場	6	7		13		
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ						
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	3			3		
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫						
(14)		倉庫	19	1		20		
(15)		前各号に該当しない事業場	21		1	22		
(16)	イ	特を有する複合用途防火対象物						
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物						
		アーケード						
		危険物製造所等						
		併用住宅						
		専用住宅	39	1		40		
		その他	32			32		
		計	135	11	3	148	1	0

8. 危険物施設と石油コンビナート等 特別防災区域の概要

- (1) 石油コンビナート等特別防災区域の概要
- (2) 市町別危険物製造所等施設数
- (3) 類別危険物製造所等施設数
- (4) 危険物製造所等の許可・完成検査・廃止届出数
- (5) 屋外タンク貯蔵所数

(1) 石油コンビナート等特別防災区域の概要

平成21年4月 新潟東港石油コンビナート地区大容量泡放射システム配備完了。

令和6年3月31日現在

地区名 新潟東港東地区 地区面積 3,699,508㎡

1. 特定事業所

第1種事業所 3事業所 (レイアウト1事業所含む)

第2種事業所 3事業所

2. 危険物施設等(特定事業所)

危険物施設(石油類)

屋外タンク貯蔵所 32基

移送取扱所 3施設(東西配管含む)

一般取扱所 15施設

貯蔵量等

貯蔵量 1,044,872KL 取扱量 190,085KL 合計 1,234,957KL

高圧ガス施設

高圧ガスタンク(50t以上) 5基

貯蔵量等

高圧ガス

貯蔵量 91,260 t 処理量 8,513千m³N/日

高圧以外の可燃性ガス

処理量 551,239千m³N/日

3. 共同防災組織

海上 新潟東港海上共同防災協議会

陸上 新潟東港地区共同防災協議会

広域 北陸地区広域共同防災協議会(1事業所が加盟)

(2) 市町別危険物製造所等施設数

令和6年3月31日現在

市町	製造所 計	製造所	貯蔵所									取扱所				
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
計	1,023	11	756	95	246	8	99	6	274	28	256	115			2	139
新発田市	346	2	230	29	16	4	46	3	126	6	114	62				52
胎内市	405	9	317	40	182	2	34	2	42	15	79	24				55
聖籠町	272		209	26	48	2	19	1	106	7	63	29			2	32

(3) 類別危険物製造所等施設数

令和6年3月31日現在

類別	製造所 計	製造所	貯蔵所									取扱所				
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
計	1,023	11	756	95	246	8	99	6	274	28	256					
第一類	2		2	2												
第二類																
第三類																
第四類	997	8	737	88	246	8	99	6	262	28	252	115			2	135
第五類	3		3	3												
第六類	1		1						1							
混在	20	3	13	2					11		4					4

(4) 危険物製造所等の許可・完成検査・廃止届数

令和6年3月31日現在

区分	製造所	計	製造所	貯蔵所								取扱所						
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	
許可	設置	19		18	3						15		1					1
	変更	86	14	26	2	19					5		46	13				33
完成検査	設置	22		19	3	1					15		3					3
	変更	92	14	34	2	24					8		44	13				31
廃止届		42		38	1	11			4		22		4	1				3

(5) 屋外タンク貯蔵所数

令和6年3月31日現在

容量別	類別	計	第四類	特定屋外タンク
100kL未満		147	147	
100kL以上 500kL未満		59	59	
500kL " 1,000kL "		15	15	
1,000kL " 5,000kL "		10	10	10
5,000kL " 10,000kL "				
10,000kL " 50,000kL "		4	4	2
50,000kL " 100,000kL "		7	7	6
100,000kL " 200,000kL "		4	4	4
200,000kL " 300,000kL "				
300,000kL " 400,000kL "				
400,000kL以上				
計		246	246	22

9. 救 急 ・ 救 助 等

・ 救 急

(1) 令和5年出場状況と前年比較

(2) 月別・事故別出場状況

(3) 曜日別出場状況

(4) 時間別出場状況

(5) 過去5ヶ年の出場状況

(6) 年齢・事故種別搬送人員状況

(7) 収容所要時間別搬送人員状況

(8) 覚知別出場状況

・ 救 助

(1) 令和5年出場状況と前年比較

(2) 活動状況

(3) 救助訓練実施状況

(4) 訓練施設の状況

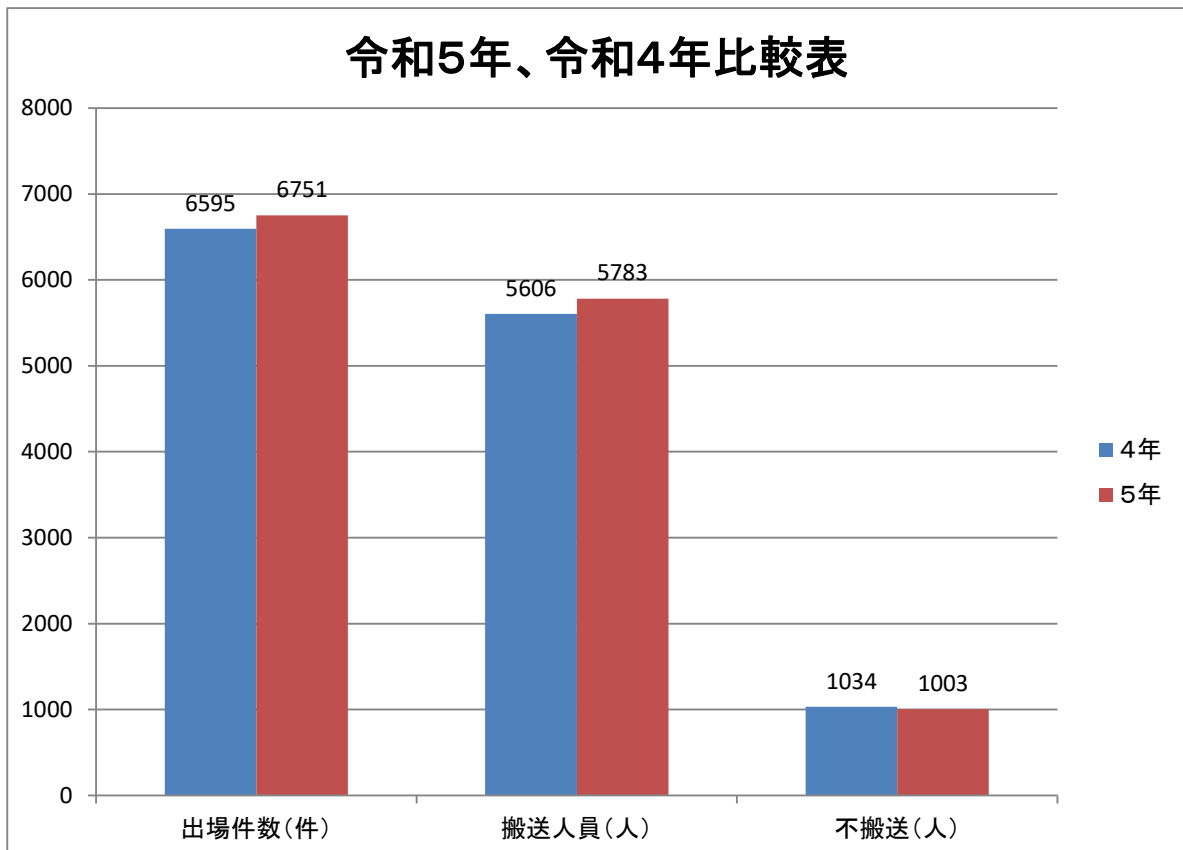
(5) 救助隊員数

(6) 救助車両

(7) 緊急消防援助隊登録数

(1) 令和5年出場状況と前年比較

年 別 区分	事故 種別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
													転 院 搬 送	そ の 他
5年	出場件数	6,751	26	3	3	320	106	49	952	9	78	4,427	666	112
	不搬送	1,003	19	1	1	74	5	5	131	3	30	618	7	109
	搬送人員	5,783	8	2	2	265	102	44	825	6	48	3,815	663	3
4年	出場件数	6,595	18	1	9	343	85	46	914	12	59	4,336	639	133
	不搬送	1,034	11	0	5	88	3	6	130	3	21	644	3	120
	搬送人員	5,606	12	1	4	284	82	40	785	10	38	3,700	637	13

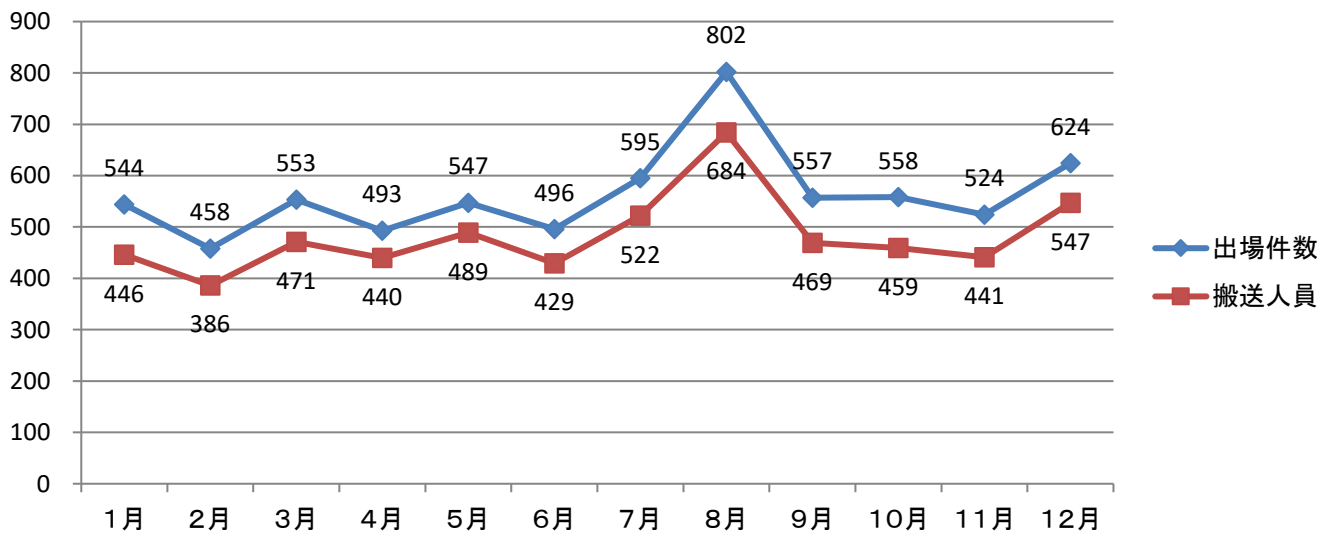


(2) 月別・事故別出場状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日

月別	事故種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
													転搬院送	医搬師送	その他
合計	出場件数	6,751	27	2	3	320	106	49	952	9	78	4,427	666	29	83
	不搬送	1,003	19	1	1	74	5	5	131	3	30	618	7	29	80
	搬送人員	5,783	9	1	2	265	102	44	825	6	48	3,815	666		
1月	出場件数	544		2	2	21	7	2	79		7	373	45		6
	不搬送	103		1		10			16		1	68	1		6
	搬送人員	446		1	2	13	7	2	63		6	307	45		
2月	出場件数	458	1			19	4	3	70	1	5	304	48	1	2
	不搬送	73				5		1	11	1	4	47	1	1	2
	搬送人員	386	1			14	4	2	59		1	258	47		
3月	出場件数	553	4			28	5	1	71	2	8	370	55	4	5
	不搬送	85	3			6			10	1	6	50		4	5
	搬送人員	471	1			25	5	1	61	1	2	320	55		
4月	出場件数	493	3		1	24	4	1	92		6	297	55	5	5
	不搬送	57	1		1	2	1		6		2	33	1	5	5
	搬送人員	440	2			25	3	1	86		4	264	55		
5月	出場件数	547	3			22	8	4	76	2	6	360	55	2	9
	不搬送	66	3			4		1	9	1	3	33	1	2	9
	搬送人員	489				19	8	3	71	1	3	329	55		
6月	出場件数	496	3			35	7	4	57	1	14	302	65	5	3
	不搬送	71	1			6	1	1	12		5	37		5	3
	搬送人員	429	3			30	6	3	45	1	9	266	66		
7月	出場件数	595	1			16	6	4	90	1	8	389	67		13
	不搬送	74	1			4			8		1	49			11
	搬送人員	522				13	6	4	82	1	7	340	69		
8月	出場件数	802	3			40	30	14	78		3	573	53	3	5
	不搬送	118	2			6	1	1	11		1	87	1	3	5
	搬送人員	684	1			34	29	13	67		2	486	52		
9月	出場件数	557	1			21	14	11	68		4	375	51	3	9
	不搬送	90	1			6	2		9		3	57		3	9
	搬送人員	469				16	13	11	59		1	318	51		
10月	出場件数	558	2			38	5	3	90	1	5	354	48	4	8
	不搬送	99	2			9		1	16		3	56		4	8
	搬送人員	459				29	5	2	74	1	2	298	48		
11月	出場件数	524	4			23	6	1	87	1	8	334	52		8
	不搬送	83	3			5			15		1	50	1		8
	搬送人員	441	1			18	6	1	72	1	7	284	51		
12月	出場件数	624	2			33	10	1	94		4	396	72	2	10
	不搬送	84	2			11			8			51	1	2	9
	搬送人員	547				29	10	1	86		4	345	72		

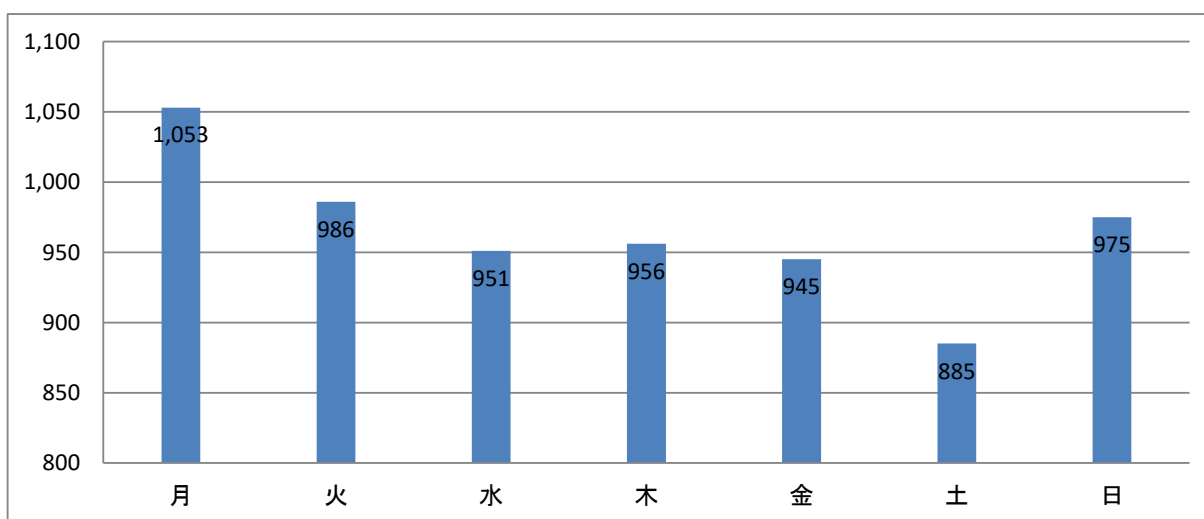
月別出場状況



(3) 曜日別出場状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日

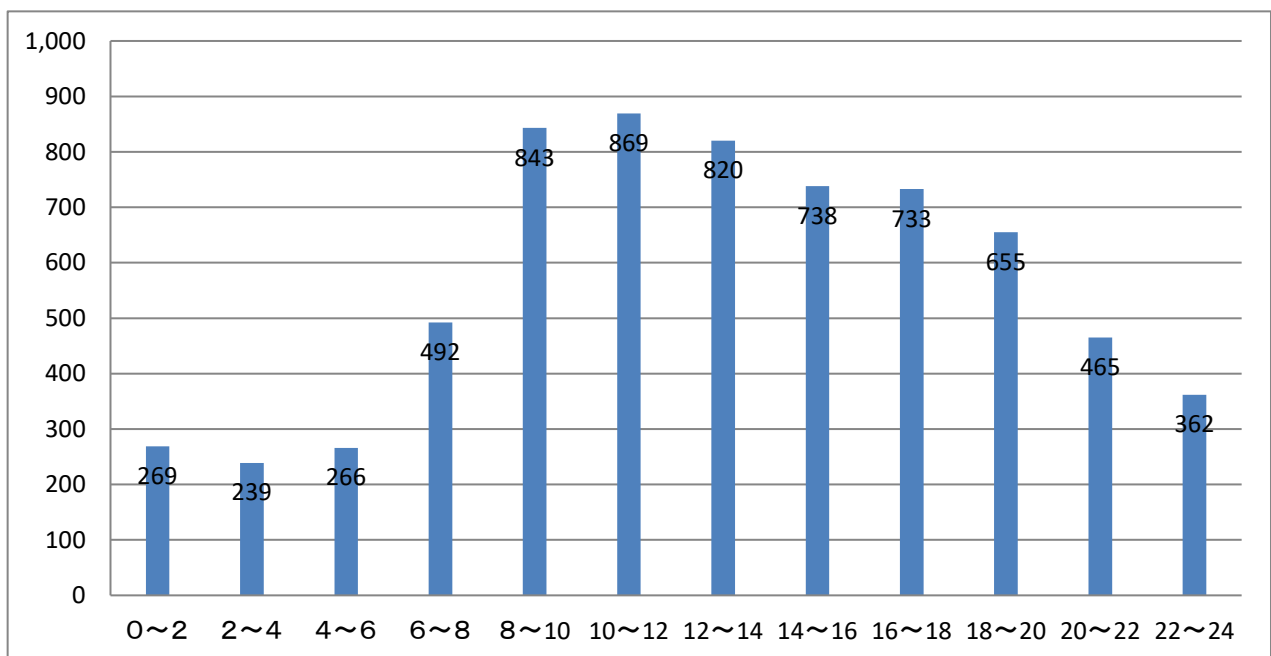
区分	事故種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
													転搬院送	医搬師送	その他
曜日別	月	1,053		1	1	45	16	4	160		13	675	118	8	12
	火	986	3		2	45	20	6	128	3	14	646	106	5	8
	水	951	6	1		39	19	5	124	1	16	602	125	5	8
	木	956	4			49	19	4	130		8	618	108	4	12
	金	945	5			53	15	4	120	1	13	607	110	6	11
	土	885	7			41	11	8	139	2	5	584	68	1	19
	日	975	2			48	6	18	151	2	9	695	31		13
計	6,751	27	2	3	320	106	49	952	9	78	4,427	666	29	83	



(4) 時間別出場状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日

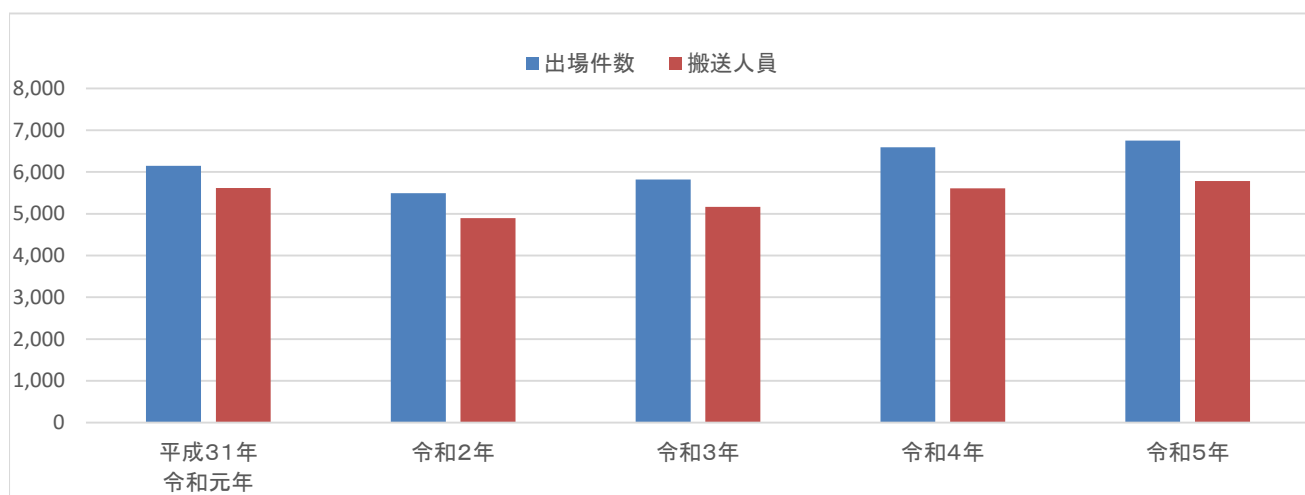
区分	事故種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
													転搬院送	医搬師送	その他
計		6,751	27	2	3	320	106	49	952	9	78	4427	666	29	83
時間別	0～2	269				3			28		4	226	4		4
	2～4	239	1			4	1		26	1	2	194	2		8
	4～6	266				4	2		32		3	217	3		5
	6～8	492	1	1		13	7	1	72		13	372	4		8
	8～10	843	4		1	48	15	3	133		5	539	74	10	11
	10～12	869	4			43	17	14	122	1	7	467	181	4	9
	12～14	820	2			40	18	11	120	2	5	465	145	7	5
	14～16	738	5			49	22	11	111	1	10	409	111	5	4
	16～18	733	3	1		42	11	6	97	1	8	448	105	3	8
	18～20	655	1			44	9	1	96		9	467	21		7
	20～22	465	2			15	3	2	70	1	7	349	9		7
	22～24	362	4			2	15	1		45	2	274	7		7



(5) 過去5ヶ年の出場状況

平成31年～令和5年12月31日

年 別	事故 種別 区分	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
													転 院 搬 送	そ の 他
31年 元年	出場件数	6,150	13		5	337	85	42	887	25	74	3,944	649	89
	不搬送	566	10		3	45	2		77	6	19	313	2	89
	搬送人員	5,615	4		2	314	83	42	812	20	55	3,633	650	
2年	出場件数	5,491	21		7	330	66	27	805	17	53	3,494	580	91
	不搬送	618	17		3	69	4		79	9	19	333		85
	搬送人員	4,898	5		4	281	62	27	726	8	34	3,164	580	7
3年	出場件数	5,817	22	2	14	320	107	32	768	16	63	3,777	610	86
	不搬送	675	20		5	64	6	1	71	5	26	393	3	81
	搬送人員	5,167	2	2	9	279	101	31	698	11	37	3,385	607	5
4年	出場件数	6,595	18	1	9	343	85	46	914	12	59	4,336	639	133
	不搬送	1,034	11	0	5	88	3	6	130	3	21	644	3	120
	搬送人員	5,606	12	1	4	284	82	40	785	10	38	3,700	637	13
5年	出場件数	6,751	26	3	3	320	106	49	952	9	78	4,427	666	112
	不搬送	1,003	19	1	1	74	5	5	131	3	30	618	7	109
	搬送人員	5,783	8	2	2	265	102	44	825	6	48	3,815	663	3

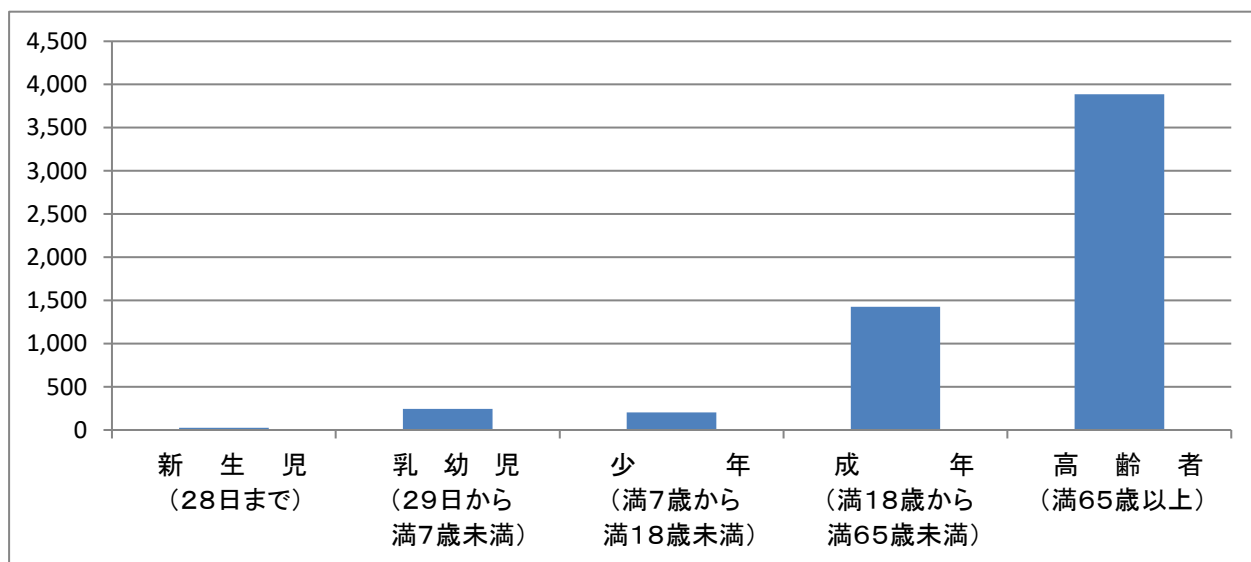


出場件数	6,150	5,491	5,817	6,595	6,751
搬送人員	5,615	4,898	5,167	5,606	5,783
年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年

(6) 年齢・事故種別搬送人員状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日

事故種別 年齢	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
												転院搬送	その他
合計	5,783	8	2	2	265	102	44	825	6	48	3,815	663	3
新生児 (28日まで)	24										2	22	
乳幼児 (29日から 満7歳未満)	244				8			23			179	34	
少年 (満7歳から 満18歳未満)	203				23		26	41	1	4	101	7	
成年 (満18歳から 満65歳未満)	1,426	2		2	141	80	17	135	4	38	867	138	2
高齢者 (満65歳以上)	3,886	6	2		93	22	1	626	1	6	2,666	462	1



(7) 収容所要時間別搬送人員調

令和5年1月1日～令和5年12月31日

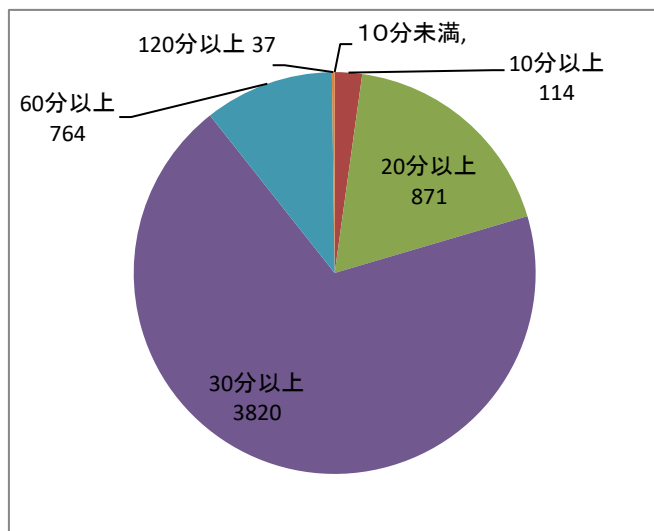
収容所要 時 間	覚知から医療機関等に収容するに要した時間						
	合 計	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分 以 上
搬送人員	5,783		127	1,055	3,985	603	13

(8) 覚知別出場状況

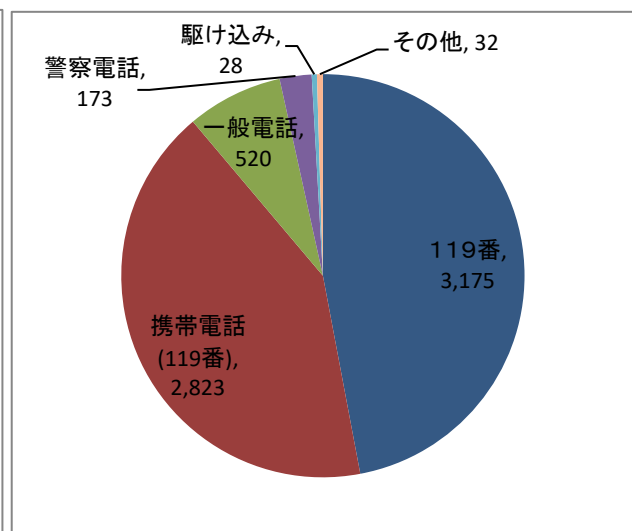
令和5年1月1日～令和5年12月31日

覚 知 別	合 計	119番	携帯電話 (119番)	一般電話	警察電話	駆け込み	その他
件 数	6,751	3,175	2,823	520	173	28	32
比 率 (%)	100	47.0%	41.8%	7.7%	2.6%	0.4%	0.5%

収容所要時間別搬送人員調



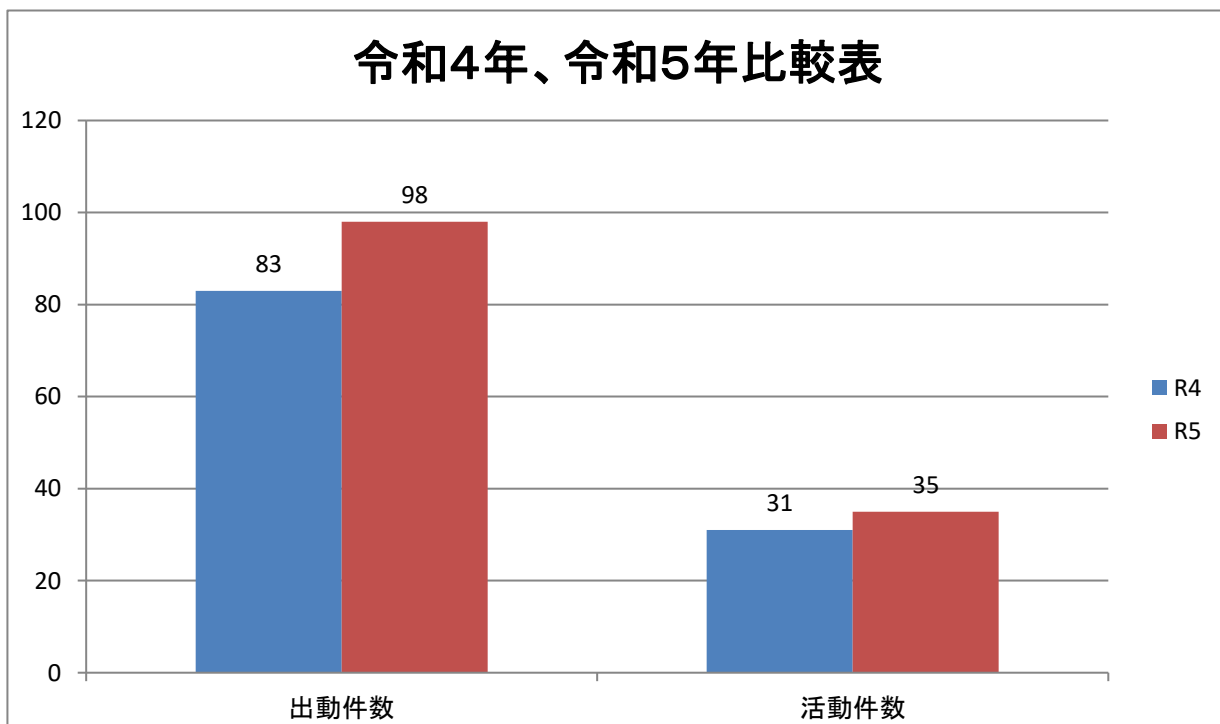
覚知別出場状況



救 助

(1) 令和5年出場状況と前年比較

年 別	事故種別 区 分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	事 風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	破 裂 事 故	そ の 他	計
		建 物	建 以 物 外									
4年	出 動 件 数	2		29	8	2	1	10	1		30	83
	活 動 件 数	2		8	3	1	1	9			7	31
5年	出 動 件 数	1		37	3		3	5	10		39	98
	活 動 件 数	1		9	1			2	10		12	35

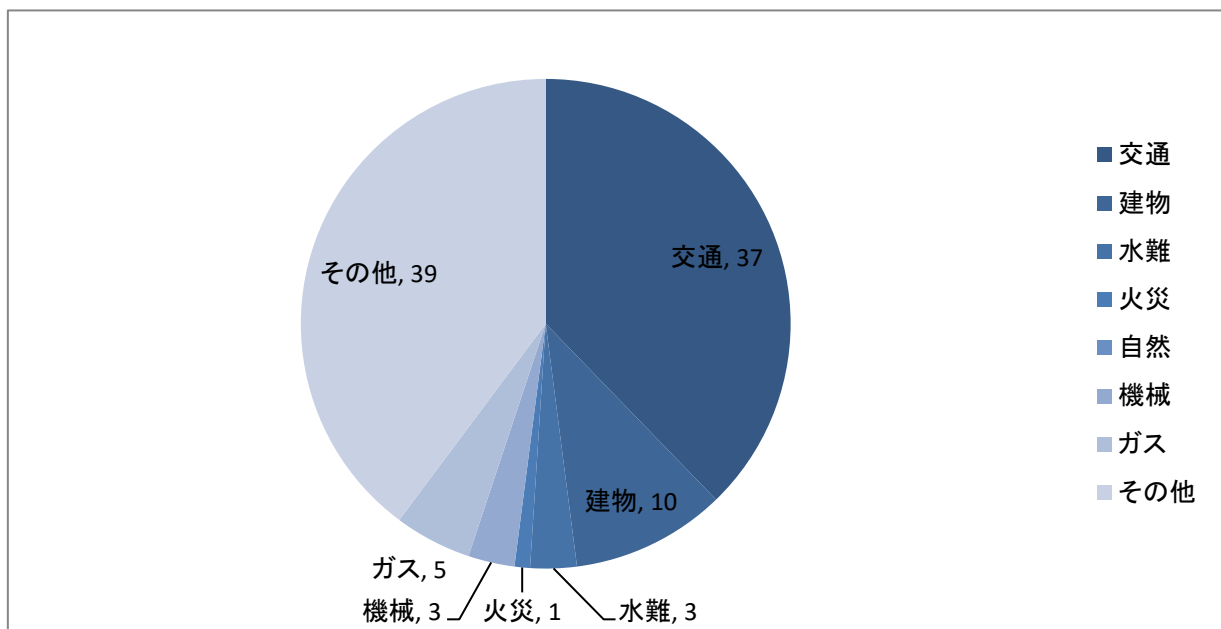


(2) 活動状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日

事故種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	事 風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	破 裂 事 故	そ の 他	計
	建 物	建 以 外									
出 動 件 数	1		37	3		3	5	10		39	98
活 動 件 数	1		9	1			2	10		12	35
救 助 人 員	2		10	1			2	10		14	39
出 動 人 員	20		312	25		20	40	64		274	755
出 動 車 両	7		97	7		6	13	20		84	234

出動件数(事故種別)

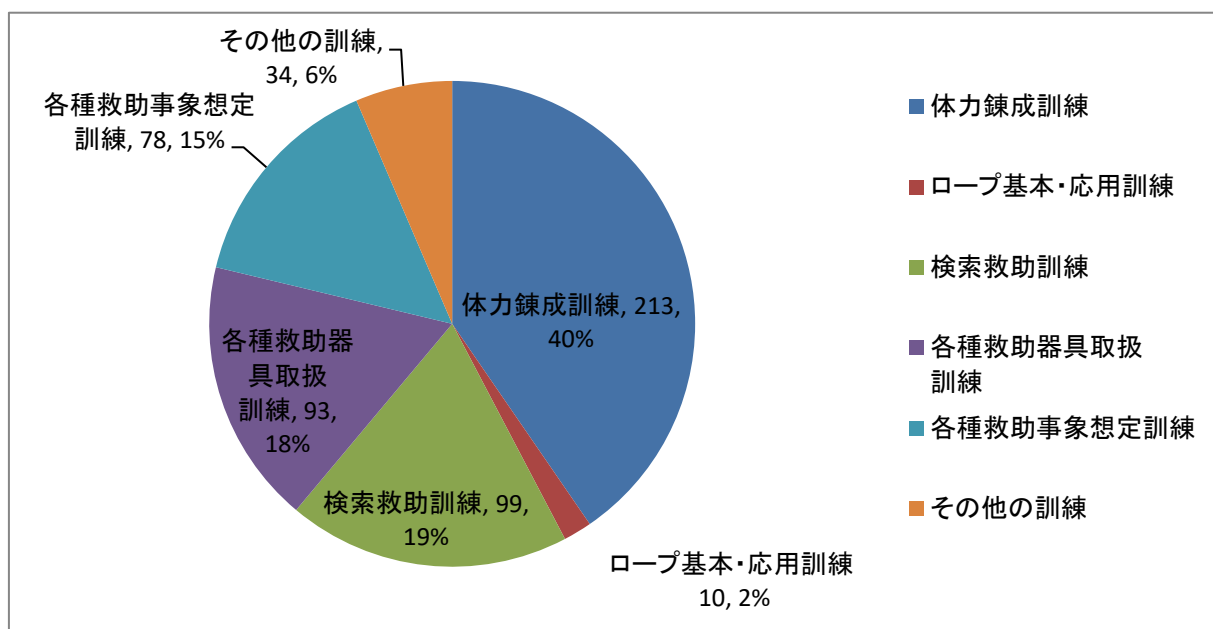


(3) 救助訓練実施状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日

回数など	合 計	体 力 練 成 訓 練	応 用 プ ロ ー プ 基 本 ・ 訓 練	検 索 救 助 訓 練	取 扱 器 具 訓 練	各 種 救 助 事 象 訓 練	そ の 他 の 訓 練
実施延べ回数	527	213	10	99	93	78	34
実施延べ人員	2,085	627	45	413	461	378	161
実施延べ時間	710	293	13	115	116	127	46
1回当たり参加人員	4.0	2.9	4.5	4.2	5.0	4.8	4.7
1回当たり実施時間	1.3	1.4	1.3	1.2	1.2	1.6	1.4

救助訓練内容別



(4) 訓練施設の状況

施設名	構造
訓練塔	・鉄骨造り 高さ：17m
	4m×5m 踊り場付
補助訓練塔	1、単管パイプ造り 高さ：10m
	7.5m×6.5m 踊り場付
	2、単管パイプ造り 高さ：7.6m
	5.6m×2.8m 踊り場付

(5) 救助隊員数

令和6年4月1日

救助隊員数(第3条)	専任	兼任
32名		36名
救助隊員数(第4条)	専任	兼任
20名		19名
山岳救助隊員数	専任	兼任
27名		27名
水難救助隊員数	専任	兼任
27名		27名

(6) 救助車両

車名	車種	年・形式	備考
はしご自動車	日野	H 8年 KC-PR4FOF	30m級 起伏角度—10~75°
多目的消防ポンプ車	日野	R 3年 2KG-FE2ABA	13mブーム付 900L水槽 CAFS装置
救助工作車	日野	H 19年 BDG-GX7JGWA改	5.5t (照明・クレーン・ウインチ付)
救助工作車	日野	H 30年 2KG-GX2ABA	5.5t (照明・クレーン・ウインチ付)

(7) 緊急消防援助隊登録数

消火小隊 4 隊 平成 16 年度 (化学消防車・新発田消防署)
 平成 17 年度 (水槽付消防ポンプ車・新発田消防署)
 平成 18 年度 (水槽付消防ポンプ車・中央分署)
 平成 21 年度 (水槽付消防ポンプ車・黒川出張所)

特殊災害小隊 1 隊 平成 26 年度 (大型化学高所放水車・聖籠分署)

救助小隊 1 隊 平成 20 年度 (救助工作車・胎内消防署)

救急小隊 2 隊 平成 18 年度 (災害対応特殊救急車・新発田消防署)
 平成 26 年度 (災害対応特殊救急車・胎内消防署)

登 録 隊	登録車両	登録隊員数
消火小隊	新発田化学 1、新発田タンク 1 中央タンク 1、黒川タンク 1	8名
特殊災害小隊 (大型化学高所車)	聖籠高所 1	3名
救助小隊	胎内救助 1	5名
救急小隊	新発田救急 1、胎内救急 1	6名

10 . 消 防 団 関 係

- (1) 市町別消防予算
- (2) 市町別消防団員諸手当
- (3) 市町別消防団員数
- (4) 市町別消防団員年数調
- (5) 市町別消防車両等台数
- (6) 市町別消防水利状況

(1) 市町別消防予算

令和6年4月1日現在
(単位：百万円)

区分 市町別	消防費 当初 予算額	内 訳			一般会計予算に占める 消防予算比率(%)		
		常備 消防費	非常 消防費	その他	令和6年度	前年度	比較
新発田市	1,454.1	1185.6	119.2	149.3	3.1	3.1	0.0
胎内市	939.0	452.4	47.1	439.5	4.7	5.3	-0.6
聖籠町	366.4	307.0	40.9	18.5	4.4	6.6	-2.2

(2) 市町別消防団員諸手当

令和6年4月1日現在
(単位：円)

区分 市町別	火災 出動手当	警戒 出動手当	訓練 出動手当	機関手当	その他
新発田市	8,000/日 4,000/4h未満	2,800	2,800	5,000	2,100
胎内市	2,400	2,400	2,000		1,000
聖籠町	8,000/日 4,000/4h未満	2,800	2,800		2,100

(3) 市町別消防団員数

令和6年4月1日現在

階級別 市町別	定員数	団 員								
		実員数	団 長	副 団 長	方面隊長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
計	2,140	1,964	3	8	4	38	45	114	251	1,501
新発田市	1,225	1,131	1	4		17	27	83	174	825
胎内市	650	574	1	2	4	13	14	31	54	455
聖籠町	265	259	1	2		8	4		23	221

(4) 市町別消防団員年数調

令和6年4月1日現在

年数別 市町別	計	団 員						
		5年未満	5年～ 9年	10年～ 14年	15年～ 19年	20年～ 24年	25年～ 29年	30年以上
計	1,964	304	474	456	300	252	126	52
新 発 田 市	1,131	182	279	261	154	145	78	32
胎 内 市	574	85	132	123	98	80	39	17
聖 籠 町	259	37	63	72	48	27	9	3

(5) 市町別消防車両等台数

令和6年4月1日現在

区 分 市町別	計	普 通 消防自動車	積 載 車	小 型 動力ポンプ	そ の 他
計	296	10	149	137	0
新 発 田 市	126	4	77	45	0
胎 内 市	122	1	51	70	0
聖 籠 町	48	5	21	22	0

(6) 市町別消防水利状況

令和6年4月1日現在

区 分 市町別	計	消 火 栓	防 火 水 槽	防 火 井 戸	プ ー ル	そ の 他
計	3,738	2,961	612	116	33	16
新 発 田 市	2,151	1,701	335	93	22	0
胎 内 市	1,055	789	238	23	3	2
聖 籠 町	532	471	39	0	8	14



▲新発田城(国重要文化財)

令和5年版 消 防 年 報

令 和 6 年 刊 行

編 集 新発田地域広域事務組合消防本部
〒957-0063 新潟県新発田市新栄町1丁目8番31号

電 話 (0254) 22-1119 (代表・通信指令室)
(0254) 22-3789 (総務課)
(0254) 22-9073 (警防課)
(0254) 22-8096 (予防課)

FAX (0254) 26-6690 (消防本部)
(0254) 23-9119 (通信指令室)

ホームページ <https://www.shibata-kouiki.jp/119/>

火災の問い合わせ(テレホンサービス)
(0254) 22-0999